

関西支部だより

# 時習館

かんさい

## 第 30 号

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-14-1  
**山本通産株式会社内**  
 時習館同窓会関西支部発行  
 TEL (06)6252-2131  
 FAX (06)6261-2020  
 E-mail ishikawa@ytc-j.co.jp  
 振替口座番号 00960-3-326081

世界に羽ばたく



神戸迎賓館ご提供による写真 神戸迎賓館須磨離宮

## 関西支部総会開催 2016年6月12日(日) 11時30分～15時

時習館同窓会関西支部の第50回記念総会ならびに懇親会を、来る6月12日(日)「神戸迎賓館 須磨離宮」にて開催いたします。10時30分から受け付け開始、11時30分から総会に引き続き懇親会を行います。世界との交流により発展した神戸の地、世界のリーダーとして、明日を夢見る若い人の育成に力を入れている時習館と相通じるものがあります。皆さんが世界で活躍している様子など語り合えればと思います。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

記

と き：2016年6月12日(日) 11時30分～15時  
 と ころ：神戸迎賓館 須磨離宮  
 会 費：10,000円 (学生 3,000円)

本誌では神戸開催にちなみ「羽ばたく」をキーワードにして編集しました。

(注) 年号表記は西暦を基本とします。状況に応じて和暦も随時、使います。(編集部)

## もくじ

「開港 150 年、世界に羽ばたく神戸」	石川吉之助	1
<b>〈支部総会など〉</b>		
2015 年度支部総会・懇親会&観光スナップ		2
2015 年度総会出席者リスト・平成 26 年度分年会費納入者		5
2014 年度会計報告及び 2015 度時習館同窓会関西支部役員		7
時習館同窓会関西支部第 49 回総会・懇親会の報告	鈴木 茂樹	8
第 50 回記念総会・懇親会の呼びかけ	松下 和正	11
<b>〈特別寄稿〉</b>		
時習館だより	時習館高等学校	川村 校長 13
時習館同窓会だより「平和の杜の集い」	時習館同窓会本部	大河幹事長 16
<b>〈特集記事、世界に羽ばたく〉</b>		
模倣から創造へ	廣田 輝子	19
ピアノのためのパリ留学生活	尾野 文香	22
大音楽家 ピエール・ブレーズについて	河合 悠吾	25
東京五輪で満開に～世界に羽ばたく日も近い、鈴木亜由子さん～	増田 明美	29
<b>〈特別企画 卒業後 50 年を迎えて〉</b>		
時習 18 回生有志からの投稿		31
吉田 眞子、堂本こすぎ、水口 道子、江辺 和子、中野 成能、小田 健治、熊谷 高幸		
古跡 恭子、池田 和子、市原 俊彦、酒井 康利、熊谷 信哉、鈴木 康浩		
<b>〈会員だより・あなたにとっての転機は〉</b>		
比較言語学ことはじめ	菅原 民生	47
音訳ボランティア 25 年	岡田 博子	49
子供たちの未来のために大人ができることは	垣内亜佐子	51
SE という仕事	鈴木富美子	53
<b>〈特別投稿〉</b>		
「写真」は我が「天職」か？	河合 利夫	57
時習館同窓会名古屋支部 女性の会 (JNL) 10 年の歩み	田中 定子	59
JKL JNL からのお知らせ「近江八幡 夢遊覧へのお誘い」	事務局	61
<b>〈支部活動報告〉</b>		
ゴルフ同好会からの報告	山村 信哉	63
囲碁同好会からの報告	竹内 隆夫	64
姫路城に行く	事務局	65
<b>〈お知らせ〉</b>		
事務局からののお知らせ、会員の動静		67
先輩からの温かい援助&『時習館かんさい』へ投稿してみませんか		69
編集余話		70



神戸港から海外へ  
(昔の絵ハガキより)

## 「開港 150 年、世界に羽ばたく神戸」

時習館同窓会関西支部

支部長 石川 吉之助（時習 12）



2016 年丙申（ひのえ さる）の年もおだやかに明けました。

しかし、世界経済は減速感が強く、先行不透明な状況となっております。また、昨年 11 月のパリに続き、今年 3 月にはブリュッセルでの連続テロ事件の発生など過激派組織 I S の恐怖も広がっております。

今年の我が時習館高校同窓会関西支部総会は、『世界に羽ばたく神戸』をテーマに神戸迎賓館須磨離宮で開催される運びとなりました。

来年 1 月、神戸港開港 150 年を迎えます。

神戸港は、自然条件に恵まれた天然の良港として 1868 年（慶応 3 年）の開港以来、日本を代表する国際貿易港として発展してきました。古代、中世より大陸や朝鮮半島との交易拠点として賑わいました。

日本列島のほぼ中心に位置し世界の海運の中心ルートにあり、北米、欧州、オセアニア、東南アジア、中国航路など多くの国際定期航路を持ち、世界中の港と結ばれています。

今年の日本は 5 月に「伊勢志摩サミット」も開催され世界中からも注目されています。世界は、ますます近く、お互いに影響しあい、情報伝達の発展により“スモールワールド”となっています。

今こそ、世界をより広く、深く知り、相手を理解することが重要となっています。

同時に日本人として自分自身のアイデンティティを再認識する良いタイミングだと思います。支部総会を通じて母校を知り、若き日々を思い起こすことは、またとない絶好の機会であると信じます。

🍷🍷🍷 2015年度  
支部総会・懇親会  
スナップ 🍷🍷



万歳三唱



石川支部長挨拶



小林同窓会会長挨拶



川村校長先生挨拶



総会司会  
鈴木(優)さん(時26)



東京支部 事務局長挨拶  
雑賀さん(時19)



名古屋支部 支部長挨拶  
神野さん(時3)



同窓会副会長紹介  
福井(英)さん(時26)



懇親会 開会宣言  
総会実行委員長  
鈴木(茂)さん(時12)



写真担当  
松浦さん(時20)



乾杯  
参議院議員 太田さん(時22)



講演&アトラクション  
後藤コータローさん(時29)



平成28年度総会実行委員長  
松下さん(時14)



懇親会司会  
鈴木(優)さん(時26) & 三井さん(時19)



北川さん(時27)、花井さん(時17)



馬場さん(時32)、垣内さん(時32)



中村さん(時9)、美馬さん(時11)



林さん(時26)、鈴木(優)さん(時26)



山村さん(時17)、柴田さん(時17)



尾野(あ)さん(時8)、岩田さん(時8)



田中(奈)さん(時56)、  
尾野(文)さん(時56)



田中(奈)さん(時56)、  
とお子さん



宮崎さん(時24)  
名古屋支部幹事長 松原さん(時24)



藤田さん(時15)、吉田(久)さん(時15)



名古屋支部長 神野さん(時3)、  
廣田(襄)さん(時7)



後藤コータローさん(時29)  
柴田さん(時17)



後藤コータローさん(時15)、  
中谷(プリンちゃん)さん



津田さん、朝日奈さん



受付3人娘 鈴木(富)さん(時36)  
尾野(文)さん(時56)、加藤(明)さん(時66)



時14回トリオ 清水さん  
松下さん 片岡さん



片岡さん(時14)  
美馬さん(時11) 石田さん(時14)



時21回の皆さん  
竹内さん 高須さん 利根川さん 横井さん 米田さん



河合さん(時20)、岡田(順)さん(時20)、宇井さん(時22)

若手グループの音頭で万歳三



時29回 ミュージシャン トリオ  
後藤コータローさん、福井(敬)さん、千葉さん  
3人の伴奏で校歌斉



若手グループ(最後列2人?) 鈴木(優)さん(時26)、山村さん(時17)  
丹さん(時35)、吉田さん(時52)、加藤さん(時66)、鈴木(富)さん(時36)  
近田さん(時35)、楠本さん(時66)、田中(奈)さん(時56)、尾野(文)さん(時56)



The Realise による演奏風景  
コータロー(後藤公多郎) エディ(出田洋) モネ渡辺(渡辺繁) テルオ(田中照夫)



時29回とThe Realiseのメンバー  
千葉さん、丸地さん、真木さん、李野さん  
The Realiseのメンバー 福井(敬)さん

# 2015年度時習館同窓会関西支部 総会・懇親会出席者

## 本部来賓

会長	小林 佳雄	(時19)	副会長	清水 宏子	(時14)
副会長	高須 博久	(時21)	副会長	福井 英輔	(時26)
理事	佐藤 元彦	(時 1)	幹事長	大河 一夫	(時16)
幹事	飛松 孝司	(時30)			
顧問	川村 昌宏 校長先生				
校内幹事	新井 重式教頭先生 (時30)		校内幹事	近藤 哲 先生 (時39)	
東京支部より	東京支部事務局長 雑賀 哲治 (時19)				
名古屋支部より	名古屋支部支部長 神野 義郎 (時 3)				
同上	名古屋支部幹事長 松原 秀式 (時24)				

回	(氏名)	(勤務先)	出身小・中学校	回	(氏名)	(勤務先)	出身小・中学校
(豊 中)				(時習館)			
47	青木 邦彦		福江小	20	岡田 順子	みどり会中村病院薬剤部長	松山小・中部中
6	大林 冷子		松葉小・豊城中	20	河合 行朗	クローダジャパン (株)	新川小・中部中
7	廣田 襄		田原清田小・滋賀大付属中	20	松浦 茂男		高師小・南部中
7	廣田 輝子		狭間小・名大付属中	21	竹内 隆夫	竹内総合法律事務所	三谷小・中
8	岩田 孝枝		新川小・中部中	21	利根川 躍	三菱UFJホールディングス (株)	大崎小・南稜中
8	尾野あつ子		池場小・三輪中	21	横井 愛子	株式会社 諸国美味	向山小・中部中
8	森田七三郎		牟呂小・牟呂中	21	米田 隆子		向井小・中部中
9	中村 和歳		牟呂小・牟呂中	22	石川美代子		塩津小・岡崎学芸大付属中
10	大石由紀子	Tada Parking Lot	松葉小・豊城中	22	太田 房江	参議院議員	羽田中
10	菅原 民生		塩津小・付属岡崎中	22	西井 完		宮崎小・宮崎中
11	井口 喜之		三日小・三ヶ日中	23	高桑 眞子		田口小・田口中
11	美馬 洋子		蒲郡南部小・蒲郡中	23	中西 立美		海老小・中
12	石川吉之助	山本通産 (株)	蒲郡南部小・豊城中	24	宮崎 裕二	宮崎法律事務所	向山小・中部中
12	川勝英十津		野依小・南稜中	25	井本千津子		蒲郡南部小・岡崎付属中
12	鈴木 茂樹	(株)カバーオールジャパン	新川小・中部中	25	太田 智子	西大和保育園パート保育士	東田小・青陵中
13	伊藤 忠男	(株)丸島アクアシステム	小沢小・五並中	25	森下 庸子	共栄製茶 (株)	栄小・南部中
13	小田 宗		蒲郡南部小・蒲郡中	26	鈴木 優	関西テレビ放送 CRS推進局長	蒲郡中
13	小野 英道		三ヶ日小・豊城中	26	林 政司	有限会社 キュリネール	栄小・南部中
13	近藤 洋		神戸市高羽小・名古屋前津中	27	北川 井子		細谷小・五並中
13	白井 孝夫		羽根井小・羽田中	29	後藤公多郎		福岡小・南部中
13	松尾 英城		一宮東部小・一宮中	29	千葉 泉	ラテンアメリカ音響演奏家 大阪大教授	八町小・豊城中
13	森下 宣彦		東田小・青陵中	29	福井 敬	トヨネン (株)	松山小・中部中
14	石田 天祐	(株)ギルガメシュ	森小・湖西中	29	真木 伸治	有限会社 しいば水産	松山小・中部中
14	岡田 康彦	弁護士法人北浜法律事務所	小坂井東小・愛知学芸大付属中	29	丸地 敏夫	コニカミノルタ (株)	中部中
14	片岡 聡子		松葉小・豊城中	29	壺野 浩司		
14	川瀬 義隆		三島小・石巻中	32	垣内亜佐子	(株)キャリアリンク	下地小・北部中
14	園家 文	書家	杉山小・中	32	倉田 正也	(株)ツムラ大阪支店	新川小・中部中
14	藤巻 篤子	木戸クリニック・眼科医	新潟県10日町小・青陵中	32	鈴木 慎也	大日本住友製薬 (株)	大清水小・南稜中
14	松下 和正		蒲郡南部小・蒲郡中	32	馬場奈都子	奈良市立登美ヶ丘小学校	蒲郡市立中央小・蒲郡中
15	藤田 和弘	関西ペイント (株)	松山小・中部中	35	近田 昇	関西電力株式会社	一宮東部小・一宮中
15	吉田 久善	協和道路 (株)	八町小・豊城中	35	丹 慶太	パナソニック (株) デバイス社	豊川桜木小・豊川東部中
16	石黒 和廣		牟呂小・牟呂中	36	鈴木富美子		植田小・南稜中
16	高柳 枝直	NPO 水澄	豊城中	50	吉田 知未	積水ハウス (株) 総合住宅研究所	福岡・野依小・南稜中
17	柴田太郎	医師		56	尾野 文香	ピアニスト	高師小・本郷中
17	白井 一次	損保料率算出機構京都自賠責損害調査事務所	国府小・豊川西部中	56	田中 奈央	奈良市立伏見中学校	磯部小・磯部中
17	花井 俊作	アサヒ産業(株)	松葉小・豊城中	65	楠本 英雄	京都大学 学生	谷川小・二川中
17	本田 正明		青陵中	66	加藤明日香	大阪大学 学生	新城八名小・新城八名中
17	山村 信哉	医療法人甲聖会	豊川小・東部中				
18	江辺 和子		磯辺小・南部中				
18	熊谷 信哉		愛教大付属中				
18	古田 節子	医師	鳳来町立海老小・青陵中				
19	三井 節子	日本舞踊講師	松葉小・豊城中				

### 特別参加者

朝日奈 昭子 中谷 美弥子 津田 晃子

### 演奏者名簿 (The Realise)

ジョンソン 渡辺 繁 ジョージソン 出田 洋  
 ポールマッカーート 後藤 一太郎 リンゴスター 田中 照夫

2015年度分 賛助金・年会費納入者

2015年度分 賛助金納入者

田村 英雄(豊39)	水尾 悦子(時6)	井口 喜之(時11)	松尾 英城(時13)	藤田 和弘(時15)
四方 健一(豊44)	東海 和子(時7)	嶺田 次夫(時11)	森下 宣彦(時13)	吉田 久善(時15)
赤木 公(豊46)	廣田 襄(時7)	美馬 洋子(時11)	石田 天祐(時14)	石黒 和廣(時16)
小林 久夫(豊46)	廣田 輝子(時7)	阿部 安博(時12)	遠藤 征宏(時14)	井端 幸子(時16)
野村 昭彦(豊46)	岩田 孝枝(時8)	石川吉之助(時12)	岡田 康彦(時14)	井上 漢龍(時16)
杉浦 昭典(豊47)	尾野あつ子(時8)	川勝英十津(時12)	片岡 聰子(時14)	高柳 枝直(時16)
渡辺 孝宏(豊47)	片岡優美子(時8)	鈴木 茂樹(時12)	川瀬 義隆(時14)	村田 正好(時16)
花田 庄司(豊49)	杉原 伸一(時8)	山下 洋子(時12)	権田 知弘(時14)	市川 光雄(時17)
古田益太郎(豊49)	草場 恒夫(時8)	伊藤 忠男(時13)	園家 文(時14)	宇井 正和(時17)
彦坂 利久(時3)	森田七三郎(時8)	小田 宗(時13)	藤巻 篤子(時14)	白井 一次(時17)
小野田邦重(時4)	中村 和歳(時9)	小野 英道(時13)	古田 啓子(時14)	花井 俊作(時17)
長田美智子(時4)	松尾 昌子(時9)	近藤 洋(時13)	松下 和正(時14)	山村 信哉(時17)
伴 正義(時4)	大石由紀子(時10)	白井 孝夫(時13)	鈴木 寛治(時15)	
本部 純子(時5)	成田 一郎(時10)	中山 憲次(時13)	田村駒二郎(時15)	
大林 洽子(時6)	荒島 啓子(時11)	早川 寛(時13)	早川 克典(時15)	

2015年度分 年会費納入者

池田 和子(時18)	小西 康雄(時20)	伊与田 功(時23)	北川 井子(時27)	金井 裕子(時36)
江辺 和子(時18)	鈴木 自(時20)	岸本 由枝(時23)	不破 靖(時27)	鈴木富美子(時36)
草尾 正治(時18)	田中 登(時20)	高桑 眞子(時23)	鈴木 毅(時28)	藤井 朋行(時36)
熊谷 信哉(時18)	長野 鈴代(時20)	中西 立美(時23)	藤井 順子(時28)	布藤 知康(時36)
鈴木 康浩(時18)	松浦 茂男(時20)	鷺岡 廣行(時23)	元木いづみ(時28)	鈴木 慶太(時38)
鈴木八十二(時18)	山口 隆昭(時20)	岡田 博子(時24)	安保 裕子(時29)	山畑 幸二(時38)
堂本こすぎ(時18)	山口真知子(時20)	瀬野 敦子(時24)	千葉 泉(時29)	本田 一彦(時40)
水口 道子(時18)	梅田 洋一(時21)	高野 光代(時24)	本多 滝夫(時29)	大林 浩治(時41)
宮路くに子(時18)	鈴木加代子(時21)	原田 典彦(時24)	真木 伸治(時29)	梅原 大祐(時42)
吉田 眞子(時18)	鈴木 清士(時21)	宮崎 裕二(時24)	丸地 敏夫(時29)	藤田 望美(時44)
富山 幸世(時19)	鈴木 晴久(時21)	山本 雄二(時24)	菊井 昌代(時30)	森本 桃子(時44)
内藤 建(時19)	竹内 隆夫(時21)	井本千津子(時25)	椋木紀美江(時30)	森下亜希子(時45)
原田 典夫(時19)	利根川 躍(時21)	井本 宗宏(時25)	熊本 和正(時31)	渡邊 淳子(時45)
福重 恭子(時19)	松岡 譲(時21)	太田 智子(時25)	垣内亜佐子(時32)	河野 春海(時48)
三井 節子(時19)	横井 愛子(時21)	加藤 公也(時25)	倉田 正也(時32)	吉田 知未(時50)
森田 薫(時19)	米田 隆子(時21)	久野 良孝(時25)	鈴木 慎也(時32)	尾野 文香(時56)
伊藤 富秋(時20)	石川美代子(時22)	森下 庸子(時25)	馬場奈都子(時32)	田中 奈央(時56)
宇留島美恵(時20)	太田 房江(時22)	鈴木 優(時26)	中村利久子(時33)	
岡田 行功(時20)	河合左千夫(時22)	細井 研二(時26)	山本 政義(時34)	
岡田 順子(時20)	西井 完(時22)	林 政司(時26)	近田 昇(時35)	
河合 行朗(時20)	萩原 敏(時22)	和泉 裕子(時27)	丹 慶太(時35)	

(本誌作成着手以降にお振り込みいただいた方については、正確でない場合が考えられますので、その際にご容赦願います)



「時習さろん」での和やかなひと時

2015年11月14日に行われた「秋祭り」

参加者21名。

鈴木亜由子さんの世界陸上に続き、第1回全日本実業団対抗女子駅伝予選会における1万メートルでの活躍に興奮気味の「さろん」、限りなくリオ五輪に近づいた話題で大いに盛り上がりました。そこで「皆さんの活躍について」も思わぬエピソードが飛び出し、感心するやらビックリするやらで、時間がた経つことも忘れ、賑やかな宵を過ごしました。

会計報告書 2014年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	1,138,857	総会費(奈良ホテル)	907,210
総会会費	869,000	印刷代&通信費	457,387
年会費	204,000	出張費・交通費	39,520
支部育成費(本部より)	150,000	他支部交流費	17,000
賛助金(46名分)&寄付金	210,000	送金手数料	19,036
雑収入	5,000	雑費	13,940
普通預金利息	152	次期繰越金	1,122,916
(合計)	2,577,009	(合計)	2,577,009

以上のとおりであります。

2015年4月5日 会計 花井 俊作

平成26年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2015年4月5日 監事 利根川 躍

2015年度 時習館同窓会関西支部役員

H・ページ担当	顧問	監事	会計	理事	事務局長	副支部長	支部長																									
杉浦 達昌	美馬 洋子	大中 由紀	春村 和夫	利根川 俊作	花井 俊作	鈴木 富美子	丹馬 奈都子	阿松 津誠	北川 一井	鈴木 庸子	森下 裕二	宮崎 立隆	米岡 隆美	松岡 晴久	鈴木 節子	岡本 浩直	三井 康枝	堂本 啓弘	鈴木 聰子	高柳 直弘	藤田 啓文	古田 聰子	園田 聡子	片岡 聡子	伊藤 忠男	竹内 隆夫	山内 信哉	松村 和正	川下 義隆	石田 天祐	鈴木 茂樹	石川 吉之助
(時25)	(時11)	(時10)	(時9)	(時47)	(時21)	(時17)	(時36)	(時35)	(時32)	(時30)	(時27)	(時27)	(時26)	(時25)	(時24)	(時23)	(時21)	(時21)	(時20)	(時20)	(時19)	(時18)	(時18)	(時16)	(時15)	(時14)	(時14)	(時14)	(時14)	(時12)	(時12)	(時12)

「時習さろん」のご報告とご案内

2015年度の「時習さろん」は下記のとおり開催され、記憶に残る楽しいひと時を過ごしました。

記

- 第1回 2015年6月6日  
総会前夜祭兼『時習館かんさい』  
29号発刊記念 参加者 19名
- 第2回 2015年8月30日  
夕涼み会 参加者 20名
- 第3回 2015年11月14日  
秋祭り 参加者 21名
- 第4回 2016年2月7日  
新年会 参加者 28名  
会場:なにわ食彩「しずく」

2016年度「時習さろん」の予定

2016年度は次の日時に開催いたします。是非皆様のご参加をお待ちしています。年代を超えたフランクな会話を期待しています。

記

- 第1回 2016年5月28日(土)  
総会前夜祭兼会報30号発刊記念
- 第2回 2016年8月28日(日)  
夕涼み会
- 第3回 2016年11月19日(土)  
秋祭り
- 第4回 2017年2月5日(日)  
新年会

会場:大阪駅構内 ホテルグランヴィア大阪 19F パブレストラン「アブ」  
時間:18:00~21:00 連絡:関西支部事務局長伊藤(携帯 090-1595-0439)  
レストラン担当 新本(携帯 080-4074-1323)

# ビートルズがニューオオタニ大阪にやって来た?!



～「関西支部第 49 回総会・懇親会の報告」～

鈴木 茂樹 (時習 12)



平成 27 年 6 月 21 日 (日)、大阪城公園の大阪城天守閣を眼前に望むホテルニューオオタニ大阪に同窓生、来賓、特別参加者、サポーターなど総勢 100 名余が集まり時習館関西支部第 49 回総会・懇親会が開催されました。



会場前に掲げられた案内板

心配された夜来の雨も上がり天気にも恵まれました。

今回の大阪大会のテーマは「夢と笑い」、東京に比べ政治経済文化情報面などで元気の無い大阪に活を入れるべく?設定されました。大坂夏の陣から 400 年の行事も細々と行われている感じです。とは言え、太閤さんゆかりの大阪城に近い会場にしよう和前年 3 月ごろ 2、3 会場候補を見て回り、東京支部同窓会の開催場所であるニューオオタニがよかろうということでニューオオタニ大阪のウイステリアの間を予約し準備に入りました。

予定通り 11 時 30 分にアナウンサーの経験は無いものの司会を任せたら絶妙の TV 局勤務のベテラン鈴木 優さん (時習 26 回) の司会で始まりました。

○ **総会** 支部長あいさつから来賓挨拶、一連の議事まで

まず、石川吉之助支部長 (時習 12) が例年通り現役会社経営者らしく時節を弁えた簡潔明瞭な

挨拶をし、続いて小林佳雄同窓会会長の挨拶がありました。特に、時習館同窓会ヨーロッパ支部の発足と会員紹介応援の要請がありました。

川村昌宏校長先生は各地の高校校長を歴任された後、本年 4 月から前林校長に代わり時習館の校長に着任されたとのこと、一時期時習館高校で物理の教諭をされていたと話されていました。

また、母校の SSH (スーパーサイエンスハイスクール)、本年 4 月からは SGH (スーパーグローバルハイスクール) 指定校としての国際交流を通しての「世界に通用する科学技術エキスパート育成を目指す生徒たちの活躍ぶりをご報告していただきました。ビデオで流れてくる在校生の英語でのグループディスカッションの流暢さと発音の素晴らしさは驚愕に値します。



母校からの報告 (国際交流の一コマ)

引き続き、雑賀哲治東京事務局長 (時習 19) と神野義郎名古屋支部長 (時習 3) の挨拶があり、議事として花井俊作会計 (時習 17) による会計報告と利根川躍監事 (時習 21) の監査報告が行われ、議案の同窓会規約の前年度踏襲確認、伊藤事務局長 (時習 13) による平成 26 年度活動報告と 27 年度活動計画の発表があり総会が滞りなく終了しました。

・**特別記念演奏&講演**「ビートルズに夢をかけたわが人生」後藤公多郎氏 (時習 29)

伊藤事務局長が真木伸治さん（時習 29）から親友でビートルズに夢をかけた奴がいると聞き出し、現在もプロとして演奏活動を続けている後藤さん（時習 29）を紹介してもらいました。今年のテーマ「夢」を語ってもらおうと早速お願いしその打合せに入った。実際の演奏（週 2 ほど「Cavern Club」に出演している。兎我野町元関西テレビ前）を聴きに行き、マネージャーを務める奥様純子様にも入っていただき準備を進め当日に至りました。

12 時 20 分、後藤コータローさんがエレキギターを抱え颯爽とステージに上がり、高校生のころ出会ったビートルズの曲にのめり込んでいかれた様を「イエスタデイ」から順を追って語ってくれました。今年でプロとしてビートルズの演奏を 30 年間続けている。正にポール・マッカートニーになりきっている様子。

因みに彼のメルアドは paulbase で始まる。最後は他のメンバー 3 人も加わり“Let It Be”で講演を締めくくりました。

ここで、尾野文香さん（時習 56）から後藤コータローさんにビートルズの故国、英国国旗に因んだ赤白ブルーのバラの花束が贈呈されました。



尾野文香さん（時習 56）による花束贈呈

なお、尾野さんはフランス留学後日本各地で演奏活動をされているピアニストです。来年の神戸須磨での同窓会懇親会で演奏してくれるはずです。

○ 懇親会 13:00～

講演。演奏、花束贈呈の後 10 分間の小休止をはさみ懇親会がスタートしました。ここから、

司会者が総会から続投の鈴木優さんに三井節子さん（時習 19）が加わりました。

まず、今回の実行委員長である私・鈴木茂樹（時習 12）から開会宣言を行い、続いて乾杯の音頭は太田房江氏（時習 22、参議院議員、「ふさえ姉さんの議員日記（メルマガ）」で国会での活動報告は日々刻々入ってきています）がステージ上へ進み、参会者の喉の渇きと空腹に配慮されてか、また、赤ちゃんを連れて出席された若いママさん同窓生を慮ってか、短いスピーチで締めくくり高らかに乾杯の発声をしていただけました。

テーブル・ビュッフェ式で食事開始。幹事としては料理の味と内容が心配でしたが、同じテーブルの大石由紀子さん（時習 10）から「鈴木さん、美味しいじゃん！」との感想をいただき胸をなでおろしました。

・本日のメインイベント アトラクションのスタート

後藤コータローさん率いるビートルズ・バンド The Realize 四名が再びステージへ上がりました。

PART. 1

ビートルズの曲は殆どの方が若き青春時代には口ずさんだ経験もあるでしょう。

昨今も TV コマーシャルのバックミュージックとしていつも耳にしているし。

若手の同窓生に聞くと中学校の音楽の本に曲が入っているとのこと。

The Realize はビートルズナンバーなら殆ど演奏可能だが我々の要望もありマニアックな曲目は避けてメジャーな曲を選んで演奏してくれました。

皆さん、知っている曲はバンド演奏に合わせてリズムをとったり歌ったりしています。あるテーブルではノリノリに、本物の大音量のバンド演奏に酔いしれていました。さすが、ビートルズ専門のリアライズです。後で聞いた話です、コータローさんは前日、岡山でも公演を済ませ夜中に豪雨の中国高速道を飛ばして朝、自宅に戻り殆ど寝る間もなく当日の演奏に臨んだとのこと。正に、プロ根性を発揮された演奏と歌でした。

PART. 2

近年、まだカラオケが普及していない 1960 年前後に流行った歌声喫茶を懐かしく思う中高年が多く、「歌声喫茶の出前」が同窓会などでもては

やされているとのTV報道がありました。

コータローさんが「何でも演奏しますし、会場の皆さんと一緒に歌いましょう」と提案してくれました。幹事の特権でリクエスト曲も入れて貰いました。夢多かりし青春時代にワープして、みんなで声を限りに歌って楽しい時間を過ごしました。



ビートルズメドレーの演奏風景

後日、コータローさんから入手した演奏曲目(セットリスト)を記しておきます。

当日参加された方はあのメロディーと情景を思い出しながら、参加出来なかった方はキャバクラへ後藤コータローさんの演奏と歌声を聴きに行ってください。

第1ステージ(講演中) :

1. Yesterday 2. Black bird 3. Here comes The Sun 4. 夢の人 5. Let It Be

第2ステージ(アトラクション Part1)

1. 抱きしめたい 2. All My Loving
3. HELP! 4. She loves you 5. ベートーベン
6. Nowhereman 7. Something
8. Get Back 9. Don't Let Me Down
10. Twist & Shout

第3ステージ(アトラクション Part2)

1. 上を向いて歩こう 2. ふるさと
3. カントリーロード 4. ランナウェイ
5. ダイアナ 6. Time Is On My Side
7. While My Guitar Gently Weeps
8. Ob-La-Di

### ○ 校歌応援歌斉唱 (15:00)

「わが時習館」「若き力」を再びギターを抱えた後藤コータローさん、千葉 泉さん(前年奈良大会でラテン音楽を披露)、福井 敬さん(神戸大会でサクスを演奏)の時習 29 回ミュージシャントリオがステージに上がりリードをしてく

れ、例年より力強く声高らかに合唱しました。

### ・ 万歳三唱

会も終盤となり、締めの方歳三唱を校内幹事近藤 啓教諭(時習 39)と同じテーブル席の時習 35~65 回生の皆さん 9 名が壇上に上がり若さ溢れる発声をされ会場全員がこれに唱和しました。

### ・ 閉会の挨拶

来年の神戸大会の実行委員長を務める松下和正副支部長(時習 14)が計画の一端を披露し大阪大会は滞りなく閉会しました。

例年通り、ヤマサさんと金トビさんからお土産をいただきました。感謝!

### ○ 二次会 (15:30~16:30)

場所をニューオータニ 18 階にある大阪城公園を全貌できるスカイラウンジ「フォーシーズンズ」に移し、美味しいケーキとお茶をしながら談笑しました。

演奏会がメインであったためかこの時とばかり会話が盛り上がりました。

来年の神戸での再会を約し皆さん帰宅の途につかれました。

### ○ プレイベント

本大会開催に先立ち二つのイベントが挙行されました。

\*「海遊館とサンタマリヤ号・海の旅」

2014 年 9 月 28 日、関西支部支援のもと JKL 主催で実施され海遊館に勤務されている時習林このみさん(時習 52)の特別な計らいで水族館のバックヤードを見学しジンベイザメ遊ちゃんへの餌やりや林さん出題の超難問クイズにもみんなで挑戦 貴重な経験をさせていただきました。

(家族を入れて 38 名参加)

\*今回のテーマ「笑い」を実体験する水都大阪ならではの「落語家と行くなにわ探検クルーズ・船上からのお花見」を 2015 年 3 月 29 日実施しました。暖かさに誘われ桜も綻びはじめて楽しい一日となりました。(38 名参加)



# 明治、大正のロマンが漂う 神戸迎賓館須磨離宮に集いましょう

～「2016年度 時習館同窓会関西支部第 50 回記念総会・懇親会」～



関西支部副支部長 松下 和正（時習 14）

神戸は古くて新しい街です。

奈良時代頃から「大輪田の泊り」（現在の神戸港の西側の部分）は瀬戸内海の水運の重要な拠点であり、また平清盛による福原遷都は平家物語などでよく知られています。明治の初めには兵庫町の人口は 2 万人、神戸町は 6 千人ぐらいでしたが、明治以降に大発展し世界でも有数の港町となりました。この経緯は横浜ともよく似ています。



神戸メリケン波止場

しかし須磨海岸は古くから一の谷の源平合戦で非常に有名であり、また須磨寺は平安時代初期に創設された由緒あるお寺であり、平敦盛の青葉の笛、弁慶の鐘、義経腰掛の松など源平ゆかりの古刹として有名です。

総会・懇親会の会場は大正 8 年（1919 年）に建てられた神戸迎賓館（旧西尾類蔵邸）で、その時代の面影を色濃く残し、大正モダンの佇まいを今尚誇っています。TV ドラマ「華麗なる一族」のモデルにもなり

ました。

希望者には総会前に神戸迎賓館を見学できます。また総会・懇親会終了後には地元ボランティアガイドの引率説明で須磨寺周辺の見学も予定しています。

もちろん現在の神戸は、国際文化都市。芸術、医学、教育、科学研究など様々な分野で世界最先端を誇っていることは皆様よくご存じのことと思います。

このように古くて新しい神戸に集い、「世界に羽ばたく神戸」をテーマに総会懇親会を行いたいと思います。

皆様、神戸迎賓館に集まりましょう！

迎賓館入口



神戸迎賓館須磨離宮 総会会場  
「THE VIZCAYA GARDEN」

# 特別寄稿

母校本部よりの便り



特別寄稿



# “未来を創造的に描く グローバル・リーダーを育てる”

時習館高等学校長 川村 昌宏

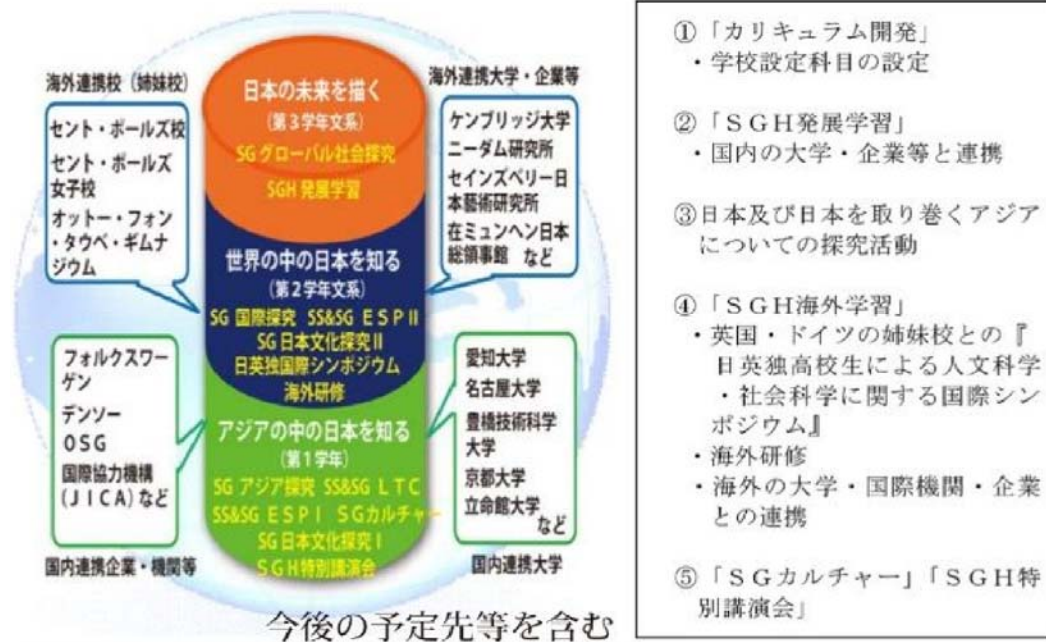
平成 20 年度から継続指定されているスーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH) に加え、平成 27 年度からは、5 年間のスーパー・グローバル・ハイスクール (SGH) にも指定されました。

今後は年次進行により事業を拡大していきます。以下は、指定 1 年目の今年度の実施概要 (平成 27 年 12 月末現在) です。

平成 27 年度

## 時習館 SGH 事業

### 1 研究の概要



本校の「自ら考え自ら成す」の精神を実践し、「問題発見・解決力」「論理的思考力・批判的思考力」「英語による説得力のあるプレゼンテーション能力」「異文化理解力」等の国際的素養を身につけた、日本の未来を創造的に描くことができるグローバル・リーダーの育成をはかる。

課題研究テーマを「共生社会と教育」「歴史と文化」「経済発展と環境」「国際政治・外交」「日本の貢献・国際協力」の 5 分野に設定し、1 年次には「アジアの中の日本を知る」という観点で取り組む。

### 2-a 「SGアジア探究」(課題研究)

10月中旬～1月中旬にかけては、集中的に姉妹校引率教員による指導(英語にて)、愛知大学教授による指導、名古屋大学・愛知大学の留学生やALTによる指導(英語にて)を受けて、課題研究に取り組む。



大学教授による指導



姉妹校引率教員による指導



大学の留学生による指導



ALTによる指導

### 2-b 「English for Social Purposes」

表現活動を通して英語圏の歴史や文化、環境、共生社会等について考察し、課題研究テーマの理解の深化につなげる。グローバルな課題等についてディスカッション等を行い、異文化理解力の育成・向上をはかる。



### 2-c 「ロジカル・シンキング・コミュニケーション」

ディベートで論理的・批判的思考力を養い、課題研究内容を説得力あるものにする。情報発信力の向上をはかり、効果的で説得力のあるプレゼンを行い、発表する。

### 3-a 企業との連携

グローバル企業を訪問し、アジア戦略についての講義を聞き、ワークショップを行うことで、課題研究への理解を深める。



企業でのワークショップ

### 3-b 国内大学との連携

大学の講義や研修を受けたうえで、現地フィールドワークをすることで、課題研究への理解を深める。



大学の講義  
(京都大学)

現地フィールドワーク  
(龍安寺)



大学の講義  
(立命館大学)

大学院生による  
ポスター展示を見学



### 3-c 国際機関との連携

#### JICA との連携

ネパールについての講演



スリランカ・アフガニスタンについての講演



### 4-a 姉妹校3校の留学生との交流

10月17日～25日、英国セント・ポールズ校、セント・ポールズ女子校、ドイツのオットー・フォン・タウベ・ギムナジウムから生徒12名、引率教員4名が本校生徒・教員宅にホームステイし、生徒・教員と交流。留学生は授業や部活動に参加したり、本校生徒とのディスカッションを行った。また、引率教員が2年生の授業や、1年生の課題研究の指導を、それぞれ英語で実施した。



#### アンケート結果

1 姉妹校との交流について			
とても良い	良い	少し良くない	良くない
82.4%	17.3%	0.0%	0.3%
2 留学生との交流が自分の視野を広げたり、英語学習への意欲を高めるのに役立つか			
大いに役立つ	少し役立つ	あまり役立たない	役立たない
75.7%	21.6%	2.3%	0.3%

- ・日本と海外の文化の違いや価値観の違いを実感でき、大いにプラスになった。海外へ目を向けるとても良い機会となった。
- ・楽しくて、外国語に対して臨む姿勢が変わった。

#### 4-b SGH 海外研修

英国・ドイツを訪れ、現地の大学、国際機関、企業での課題研究テーマに関する講義やワークショップ、さらに姉妹校での課題研究成果の発表を通して、次年度の探究活動に結びつけるとともに、平成28年度以降、本校で開催の「日英独高校生による国際シンポジウム」の充実をはかる。

##### 昨年度の生徒感想

- ・どんな国にも長所短所があり、国際交流はそれを浮き彫りにします。まず自国のことを知って、それから国どうしの協力関係をより発展させ、良きパートナーとなり、時にはライバルとしてお互いに刺激しあいながら成長していくことが大切だと思います。

#### 4-c SGH 海外研修（事前研修）

①期日 平成27年9月から平成28年3月上旬まで 授業後 計18回

##### ②内容

- ア 課題研究テーマへの一つである「歴史と文化」について、専門家や外部講師（ALT等）を招いて講義や個別指導を実施
- イ グローバル・リーダーとして必要な能力の育成。「課題発見・解決力」「異文化を理解する態度と能力」「英語で的確に発信する力」等
- ウ 英語による English Assembly での発表、「国際シンポジウム」での提案・ディスカッション、姉妹校での課題研究成果の発表ができる素養をつける

##### 研修の様子



##### 生徒の感想

- ・それぞれの国の特色や国民性を把握でき、広い視野をもつ大切さがわかったので、様々な場面で生かしていきたい。
- ・ALTや外部講師の先生と話すことで、外国人の考え方や価値観を知ることができ、大変良い経験となった。

#### 4-d English Assembly

①期日 平成27年12月19日（土）

##### ②内容

- ア 異文化理解に関する外国人講師の講演とワークショップ
- イ 英語による課題研究発表
- ウ 課題研究内容に関する、豊橋技術科学大学の留学生と英語による意見交換

③参加 SGH 海外研修（事前研修）受講者及び1年生希望者

##### 生徒の感想

- ・資料作成、プレゼンテーション、留学生との意見交換など、貴重な体験でした。もっと英語力をつけたいと思った。
- ・失敗をおそれずにディスカッションすることで、様々な意見や考え、文化を知ることができるとともに、自分の発見にもつながり、良い経験となった。



#### 5-a SGカルチャー

専門家等による講義と現地フィールドワーク



#### 5-b SGH 特別講演会

外部講師（デンソー社員・名古屋大学教授）による講演会



その他にも、「SG日本文化探究」のフィールドワークとして平成28年1月31日に京都宇治に現地調査、また、2月15日には本校で「SGH中間報告会」を開催しました。これは、“アジアの中の日本を知る”を目標に、授業「SGアジア探究」の中で1年生全員が実施してきた課題研究の成果を

校外に向けても発表するものです。さらに、3月9日から16日には、従前の英国・ドイツの姉妹校との国際交流事業に、グローバル課題に関する研究発表の場や外国企業・国際関係機関等でのフィールドワークを加えて実施する「SGH海外研修」を予定しています。

特別寄稿



# 豊川海軍工廠空襲から70年 被爆者を追悼する「平和の杜の集い」



同窓会幹事長 大河一夫（時習 19）



○ まえがき

平和の杜

平成6年時習館創立100周年記念事業として校庭の築山に記念碑「早咲きの花が散った美しく」を建立し、裏面に昭和20年8月7日の豊川海軍工廠の空爆で亡くなった当時豊橋中学校の教職員2名と3年生4名、2年生33名の姓名が刻まれている。この記念碑の周辺も整備され「平和の杜」と呼んでいる。

空襲時の豊橋中学2年生は、新制高等学校の2年生に編入され、昭和25年3月に卒業し愛知県立時習館高等学校第2回生となった。



石碑「早咲きの花」

記念碑「早咲きの花が散った美しく」

平成27年度同窓会総会前の理事会において時習2回先輩から在校生に「平和の杜」にある記念碑について質問したところ何も知らなかったことに驚き、学校でも機会を見つけて先輩たちの歴史を語ってほしいと提案された。さらに豊中50回、時習1回、2回の方々からも戦没者の追悼式典の開催等も同窓会で検討するように要望された。

平成27年は豊川海軍工廠空襲70年にあたり、空爆戦没者を多く出した近隣の高等学校などで慰霊の記念行事が開催されていた。「時習館史」によれば豊川海軍工廠に学徒勤労動員された多

くの戦没者を出した近隣高等中学校・高等女学校の空襲戦没者数は、豊橋中37名、豊橋二中25名、豊橋高女36名（豊橋二中と統合し現豊橋東高）、豊橋工業40名、国府高女18名、新城高女22名、豊橋女商30名、豊橋高等家政女24名、桜ヶ丘高女35名、松操高女44名、愛知高等実修女23名と記されている。

昭和20年に豊川海軍工廠に動員されていたのは、豊橋中学3年219名、2年生308名であった。同窓会の豊中50回、時習1回、2回が該当する。これまでにJJ会50回忌のように学年で回忌をされていたようである。このように毎年8月7日に集まる学年もあれば、この日に個人で豊川閣妙厳寺や供養塔にお参りされたり、時習館校内の「早咲きの碑」に祈りをささげたり、記念碑にお参りにみえる遺族の方の世話をされたりする方もみえることも知らされました。

本年は時習館高校に全校生徒の集まる1学期終業式を利用して石碑「早咲きの花」に関わる講話をしていただくことをお願いし承諾していただきました。そして同窓会は8月7日に「平和の杜」に個人としてお参りされる皆様を真似て、豊川海軍工廠戦没者の該当学年で有志の方々による記念碑の前で追悼の集いを企画し、運営のお手伝いさせていただくことにしました。

○「平和の杜の集い」式典報告

8月7日午前10時より「平和の杜」石碑の前で開催 敬称略

開式の辞 角谷和司（豊50回）

豊中50回生・時習館1回生代表挨拶 神野信郎（豊50回）・佐藤元彦（時1回）

黙とう 午前10時13分※1

献花 記念碑「早咲きの花が散った美しく」に1人ずつ白菊を献花：豊50回2名、時1回2名 時2回8名 時3回1名※2



献花風景

時習館高校 校長、教頭、教員 生徒会 2 名  
 同窓会役員 3 名 幹事長 校内幹事  
 時習館 2 回生代表挨拶 早川 奎(時 2 回)  
 講話の報告 時習館高等学校長 川村昌宏  
 特別講話「早咲きの花」筆者 大木雅人※3  
 閉会の辞 高須博久(時 21 回) ※4

○ あとがき

関西支部からの依頼を受けて、8月7日豊川海軍工廠空爆による豊中戦没者慰霊記念碑に関わる話を書かなくてはならないと思った。現役の生徒だけでなく関西で住んでみえる皆さんにも忘れられている出来事のように思われたからである。東三河に住んでいる人たちは、毎年8月になると豊川海軍工廠空爆関連の記事がでる。しかし時習館関係者でも身近な事と思う人は多くない。創立100周年に建てられた戦没者の記念碑と結びつかないのである。

※1 『豊川海軍工廠の記録』八七会によれば B29爆撃機120機とP51戦闘機45機の編隊による豊川海軍工廠への爆撃は午前10時13分からわずか30分足らずの間に12波の攻撃で投下された500ポンドの爆弾数は3256発

(『三州の野に』J J会卒業50周年の集い実行委員会)から引用)

これにより黙とうの時刻を午前10時13分からに拘りました。

※2 神野義郎氏(時3回)が名古屋支部を代表されて出席された。

※3 「早咲きの花が散った美しく」詩人岩瀬正雄の詩句。文字は書家大木雅夫氏の筆になる文字。朝倉勝治氏(時1回)の紹介でお話をいただいた。

※4 同窓会副会長高須博久氏から稲垣瑞雄氏(時2回)著『砂の記憶』が紹介された。一つ目の短編「砂の記憶」は、当日海軍工廠へ遅れていったため命が助かり自責の念にさいなまれながら生きてきた物語。小説ではあるが「時習館」が実名で表記され当時の状況が生々しく伝わってくる。二つ目の「塔の夏」では戦後生き残った同窓生(時2回)が薄れていく空襲とどう向かい合っているのかを描いたもの。高須氏が稲垣氏の2篇の詩と二つの短編を選び文庫本として刊行した。『砂の記憶』稲垣瑞雄発行

所豊川堂平成17年8月7日初版

「平和の杜の集い」の報告を書こうと思いながら資料を読んでいると、当初簡単な記録と写真で終わるつもりであったがそれだけでは済まなくなってしまった。資料を読んでいるうちに、同窓生として決して忘れてはいけない事件であると思い始めた。まえがきが長くなり、文が取り留めがなくなってしまったのはそのためである。うまく伝えられないもどかしさでいっぱいである。

時習館高校川村校長には学校行事の中で記念碑にまつわる話をお願いしました。また、新井教頭を始め校内幹事のみなさんに「平和の杜の集い」のために石碑周辺の草刈りを始め、テント設営など準備をしていただきました。感謝の意を表します。

参考文献

『時習館史』近藤恒次 時習館高校創立八十周年記念事業実行委員会

『愛知県教育史資料編近代四』愛知県教育センター

『三州の野に』J J会卒業五十周年の集い実行委員会(J J会時2回)

# 特集記事

## 世界に羽ばたく



## 特集記事



## 模倣から創造へ

廣田 輝子（時習7）



## ○ はじめに

“You people are copy cats.” – 1974年頃のことである。意識すると「あなた方は人まねをする国民だ。」となるのでしょうか。当時住んでいたニューヨーク市郊外の我が家の一室で、近くに住む幼稚園児のJeffが遊びの中で同じく幼稚園児の息子に言っていた言葉である。多分彼の家で親達が言っていた言葉が、そのまま遊びの中で息子に投げかけられたのであろう。横で小耳にはさんだ私には強い響きで聞こえ、今でも印象に残っている。渡米して間もない頃、借りていた家具付きの家の家主の女性がいていた。「どうして日本は安くてすぐに壊れるものばかり作るのでしょうか。価格が高くてもいいからどうして良い物を作って輸出しないのでしょうか」1960年代、日本製品は安くてすぐに壊れる粗悪品の代表だった。

## ○ 松下電器とトランジスターラジオ

1964年頃、シカゴ市内を走るループと呼ばれる環状線の駅のショーウィンドウには“PANASONIC”という聞きなれない名のラジオが展示されていた。2年余り住んだシカゴでの出来事である。同じ頃、YMCAの講座で知り合ったシカゴの日本領事館に勤める米国二世の女性の紹介で短期間のアルバイトをした。松下電器から派遣された技術者を助ける通訳の仕事だった。その頃、松下電器はシカゴ近郊に本社のあるELGINという時計会社の販売網を使って、アメリカでトランジスターラジオを売り出していた。アルバイトをすることになった貸ビ

ルの一室には、クレームと共に山のように製品が送り返されていた。日本から来た1人の技術者が手際よく一台一台を点検し修理していた。送り返された製品のほとんどが簡単なはんだ付けの不良品だった。

## ○ トヨタ自動車と特需

1962年結婚して渡米するまでトヨタ自動車工業本社に勤務していた。津田塾大学を卒業する頃、米軍の特需を受注し、英語のできる社員を必要としていたトヨタ自動車の求人者が大学にあり、東京での就職を認めない親の意向に沿って、地元に戻って英語の教師になることも考えていたが、大学にきた数少ない地元の求人に応募することにした。結局、大卒女子一期生として挙母市（豊田市）のトヨタ自動車本社に採用され三年間勤めた。配属されたのは品質管理部特需課、特需関係の技術者と英語関係者だけの米軍の特需車両に関する業務一切を扱う部署であった。

「特需」はヴェトナム戦争以前、アメリカがラオスやカンボジア等に軍事顧問団などを派遣して東南アジアに軍事介入していた頃、初期には本国から運んできていた軍用車両を日本に発注するようになって生まれたものだった。米軍は自国で調達していたのと同じトラックやジープを生産させるため、軍用車両の生産を受注したトヨタ自動車にスペックと呼ばれる設計図を渡し、原材料を指定し、おまけに本社工場には製品の抜き取り検査を専門に監督する米軍の検査官を常駐させて、日本人の検査官を雇用し、

部品から完成車まで厳格な抜き取り検査を実施した。トヨタ傘下の主な下請け数社にも配下の米軍検査官が配置されて同じような検査体制がとられていた。その頃は、世界のトヨタも米軍の検査官達に振り回されている状態だった。

しかしながら、あれから半世紀以上経った今ふり返ってみる時、指示に従って米軍の軍用車を模倣し生産したことは、いろいろな意味においてトヨタの技術者達に多くのことを学ぶ絶好の機会を与え、世界のトヨタになるために多大な貢献をしたと考えられる。

### ○ 学ぶ手段としての模倣

明治の近代化は模倣から始まった。確かに日本人は模倣が得意である。模倣から生まれた製品は粗悪で日本製品は不評だった時期があった。アメリカ人は「コピー」を嫌い「創造」にすべての価値をおく。アメリカの小学校の図工の授業には教科書がない。日本の小中学生のように漫画の主人公を見事にかき写したり、コピーした絵を得意気に見せびらかす児童もあまり見かけない。基本的に模倣は誇ることではないのである。

「模倣」を最終目的ではなく学ぶ手段と考えた時、その果たす役割は大きく大切なことだと思う。「模倣」を禁じた時、学ぶ機会を失うことにもなりかねない。すべての人々が才能にあふれ創造力を持ち、常に何かを作り出せるとは限らない。一人の能力に限りがあるとしたら、多くの人々が創造したものや才能を模倣し学び、そこから何かを生み出すことにも意義があるのではないだろうか。「模倣」に価値をおかないことは「学ぶ」ことを放棄することに繋がらないかと懸念する。

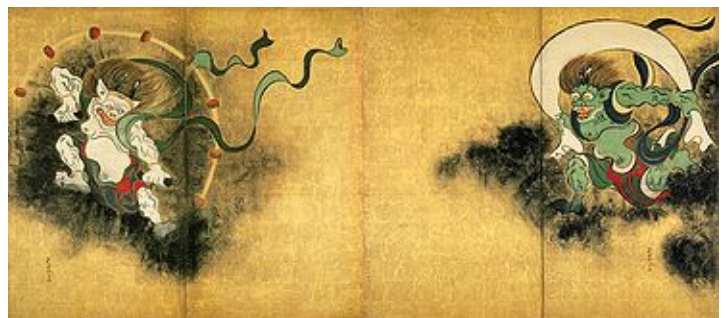
### ○ 風神雷神図に見る日本の伝統

日本は、伝統芸能を初め模倣し継承することを重んじる。「模倣すること」は「学ぶこと」と

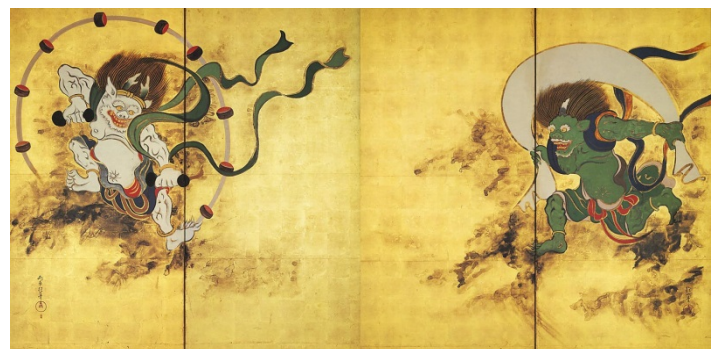
いう伝統があるように思う。美術の世界でみてみよう。2015年、琳派400年を記念して京都の4つの博物館・美術館がさまざまな展覧会を企画した。その中で京都国立博物館は江戸時代初期の画家俵屋宗達の「風神雷神図」とそれぞれに100年近くの時を経て模倣された尾形光琳の「風神雷神図」と酒井抱一の「風神雷神図」の3点を1室に展示して話題になった。



俵屋宗達の「風神雷神図」



尾形光琳の「風神雷神図」



酒井抱一の「風神雷神図」

国宝である俵屋宗達の「風神雷神図」は彼の最晩年の作とする説が有力であるが彼の生涯については不明な点が多く、1570年代かその少し前の生まれと推定されている。生まれながらの画家といわれる俵屋宗達の「風神雷神図」には彼の自然や絵に対するみずみずしい感性と機知、長年にわたって体得した描法や構成法などが自

由自在に用いられている。金箔はどの作よりも輝き、画面はどの作よりも広がりを持つといわれる。

80年余り後、尾形光琳（1658~1716）はその絵の魔力に驚き大画面構成の秘密を探ろうとして「風神雷神図」の屏風を模写した。模写してみても光琳は宗達とは本質的に違う自分をはっきり知ったといわれる。模写することにより、はっきりと自己の本質を自覚したことと、そこから得た刺激は、光琳に新しい活路を与え、彼の晩年の画風を大成させる原動力となったといわれている。

江戸初期、宗達は前の時代桃山絵画の特色であるとされる生命力の表出と華やかな装飾的効果の二要素を完全に調和させて、時代をこえ、社会をこえて、人々の心を打つ芸術品を作り上げた。江戸中期、情報も少なく名品を探し出し模写するのも容易ではなかった時代に、光琳によって引き継がれたその芸術は、さらに江戸後期、酒井抱一（1804~1830）が、光琳に対する深い尊敬から光琳の「風神雷神図屏風」を模写したことで後世に引き継がれてきた。

生きた時代も出自も異なる三人の絵師、俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一が、同じ「風神雷神図」をほぼ1世紀の時を経て模写し、これが日本の絵画だと独自性を加えて一つのイメージを分かち合い伝統を受け継いできた。それだけでなく彼等に続く後世の画家達は彼等への尊敬とあこがれを込めて「風神雷神図」を繰り返し描いてきた。光琳の「琳」の字をとって生まれた「琳派」は「個」を重んじる現代の風潮の中でも大きな芸術の流れとなって生き続けている。

## ○ 模倣からの飛躍

模倣は創造への一歩であり、単なる模倣で終わらせないことこそ重要である。模倣にマイナスのイメージがあるのは、模倣を目的として私

利私欲に走る人々が多く、多くの努力の結果を盗用する例が多いことからきていると思われる。特許をはじめ法整備はしっかりとなされなければならないし、法秩序は守られなければならない。何よりも社会規範がしっかりした成熟した社会を作り出さなければならないことはいうまでもない。

トヨタにいた頃、トヨタは材質検査のためドイツから検査機を購入した。製造元から機械操作を指導するため技師が派遣されてきた。その技師とトヨタの検査担当技師との会話の通訳を担当した。トヨタ側の技師は数式まで持ち出して機械の原理までさかのぼって説明を求めた。他方ドイツ側の技師は機械を動かせばいいのだ、どうしてそんなことまで聞くのかと驚き、不思議そうな顔をしていたのを今でも覚えている。例えそれが必要な事柄でなくとも表面的な理解に留まらない徹底した本質の理解を望むことは次への跳躍に繋がる。はんだ鰻（こて）一本で不良品の山に取り組んだ日本人技術者の熱意と技術力は現代の日本人に受け継がれているだろうか。日本人の器用さ職人氣質も模倣の段階を乗り越えて創造へと導いてくれる特質であると確信する。

## ○ おわりに

学ぶ手段であったはずの模倣がいつの間にか目的になってしまっただけの物を作り出す。模倣品の誕生である。そうならないように心したいものである。発想力を持ち個性を大切に、独自性を忘れてはならない。創造とは独自性を加えること、独自のやり方、独自のアイデアを活かさなければならない。そうでなければ、生み出されたものは単なる模倣品、まがいものに過ぎなくなる。将来を考える時、懸念すべき大きな課題は学ぶべきもの、模倣すべきものを見つけることができるのだろうか。模倣するもの、学ぶものが無くなった時、日本人は何を求めて創造へと飛躍できるだろうか。

特集記事



ピアノのためのパリ留学生活



尾野 文香 (時習 56)

3歳からピアノを始め、小学校2年生頃から本格的にコンクールに取り組み、気付けばピアノが楽しくて大好きで仕方がなくて、日常の中心がピアノという生活を自ら望んで送ってきました。その中でも、やはりフランスに留学していた約2年間には格別思い入れがあり、人生経験においても音楽のことに關しても、私にとってかけがえのない時間となっています。今回は、パリでの暮らしのを中心に、音楽のことも少し書かせていただきたいと思います。

また今回、日本では音楽学を専攻し、パリ留学ではフルート科に在籍していた主人も、時習館の卒業生ではないのですが原稿を書かせていただいております。どうぞよろしく願い申し上げます。

○ 時間の感覚

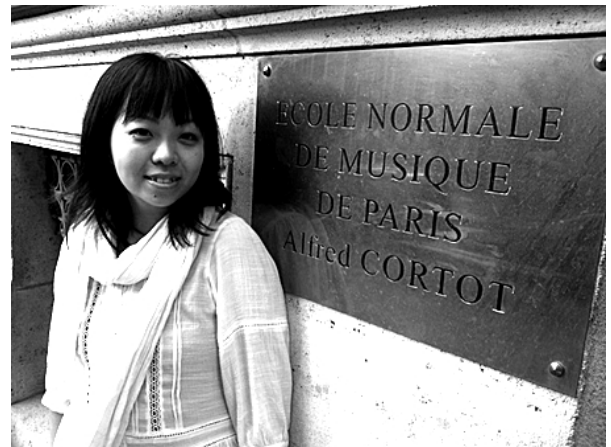
パリでの生活は、言語の違いはもちろんのこと、習慣や感覚の違いに戸惑いと驚きの連続でした。特に住み始めてすぐのうちは慣れないことも多く、音楽に集中して向き合う時間を確保するまでに、かなりの気力と体力を要しました。

日常の中で驚いたことを挙げると切りがないのですが、特に日本との大きな違いを感じたことの一つが、時間に対する感覚の違いです。フランスはかなりゆったりざっくりです。

例えば「少し待って、すぐだよ!」という意味を表しよく使われるフランス語の言い回しに「2 minutes!」というものがあります。数字としては「あと2分」のはずなのですが、実際は10分近くかかるタイミングで使われます。

パリ市内とその近郊を走る地下鉄には、時刻表がありません。駅に行くと、次は何分後に電車が来るといった表示がありますが、それも3分

表示のまましばらく電車が来なかったり、5分表示のまま電車が到着したり。始発や終電の時間、この時間帯は何分間隔というものは一応決まっているようですが、ストライキにより電車の本数が半分になることなどもよくあるので、早めに自宅を出ても約束の時間にちゃんと目的地にたどり着けるかどうか、私にとっては毎回運試しのような気持ちでした。写真は、地下鉄一回乗り換えで到着する、在籍していたエコール・ノルマル音楽院の前で撮影したものです。



在籍していたエコール・ノルマル音楽院の前で

このような感覚が所謂普通ということになっているので、やはり音楽の世界にも影響します。クラシック音楽のコンサートは、どんなに早くても5分遅れで開始します。コンサートの学生券は破格の安値ということもあり、数えきれないほどのコンサートを聴きにいききましたが、時間ぴったりに始まったことは一度もありませんでした。(私よりさらにたくさんのコンサートに行ったと思われる主人も「一度もなかった」と言っています) ちなみに日本で行われるクラシック音楽のコンサートは時間ぴったりに開

始、遅くとも数分後、5分以上遅れて開始するコンサートは滅多にないという状況です。

## ○ まさに芸術の都

一つ一つは小さなことかもしれませんが、サララップはどれを買ってもペなっぺなだったり、思うようにフランス語が出てこず不便な思いをするはめになったり（これは完全に自己責任です）、段ボールの小荷物がなかなか届かずやっと受け取れたと思ったら、これ何回投げたん！くらいの破壊寸前状態だったり。

今となってはネタとして良い思い出ですが、当時はこれらの積み重なり、どうしても気持ちが落ちることもありました。しかし、それらの憂鬱を一瞬で吹き飛ばすような魅力がパリにはありました。

たくさんの有名な作曲家たちが過ごした街。そこは、本物の芸術に触れることができる機会に溢れていました。今まで本や写真でしか見たことがなかった、歴史的にも重要な素晴らしいコンサート会場で、CDでしか聴いたことがなかった世界的にも著名な演奏家たちによる演奏会が、連日行われています。

また、作曲家たちがひとときを過ごした家も、パリやその近郊にはたくさんあります。写真は、フランスの作曲家モーリス・ラヴェルが晩年を過ごした家です。内装はラヴェル自身が手がけたこだわりのものばかりになっており、なんと彼が使っていたピアノも演奏させていただき、まさに感無量でした。他にもドビュッシーやサティの生家、ショパンがよくサロンコンサートをしていた邸宅など、作曲家たちが確かにここにいた、と実感することができる空間を訪れたときは、フランスに来て良かったと心から思う瞬間でもありました。

音楽のみならず世界的名画揃いの美術館も、私にとって大好きな空間でした。初めてルーヴル美術館に行ったときは、教科書に載っていた憧れの絵画たちがずらりと並び続ける状況に、脳が受け入れの許容範囲を越えて呆然としてしまい、ちゃんと感動するまでに時間がかかりました。モネの「睡蓮」の連作で有名なオランジュリー美術館や、ヨーロッパ以外の地域の作品や文明に焦点を当てたケ・ブランリー美術館など、何度行ってもまた訪れたい美術館がたくさんありました。



作曲家モーリス・ラヴェルが晩年を過ごした家

さらに個人的なお話になりますが、コンサート会場と美術館の他にあと一つ、パリ生活の中で私が通いつめていた場所があります。それは、チョコレート屋さんです。私がフランス語で音楽用語の次に覚えたのは、チョコレートにまつわる単語だったかもしれません。パリにはケーキ屋さんとは別にチョコレート専門のお店が数々あります。店内はたいていチョコレートにとって一番適切な空調で管理されており、ショーケースに並ぶたくさんの種類の一口サイズのチョコレートたちは、大げさかもしれませんが一粒一粒がまるで作品のようです。



一番好きなチョコレート店で購入

人気店や有名店は共通して、見た目も味も美しいだけでなく、お店のコンセプトははっきりしつつ、パッケージの色やデザインまでもがなんともお洒落だったように思います。

お菓子も芸術だなあ...と感じずにはいられませんでした。写真は、私が一番好きなチョコレート店のものです。

○ **洗練された厳密さ**

先程、時間の感覚について散々書きましたが、音楽の中身に関しては、実は物凄く厳密で繊細です。フランスの作曲家の有名な曲で例えばドビュッシー作曲のアラベスクや、ラヴェル作曲の水の戯れなど、柔らかくそうで少し華もあるようなふんわりしたイメージを持ちやすいかもしれません。しかし実際の練習過程は、それぞれの作曲家の楽譜の書き方や音楽の特徴を理解した上で、ただただ楽譜に忠実に、書かれていることを一つも見落とさず確実に表現していくという非常に地道なものです。（演奏に100%の完璧は存在しないと思っていますし、この課程は本当に奥深く、私にとっては楽しくて仕方がないです。）だいたい、で演奏してしまっただけの本物のフランス音楽とは到底言えません。なんてことなさそうな様子に見えても、それは計算し尽くされた絶妙なものから成り立っているという状態は、音楽以外の芸術においても、それこそチョコレートの世界においても共通することなのではないかなあと考えています。

ちなみに楽譜に関しては、この作曲家の作品はこの出版社の楽譜を使った方が、より作曲家の原譜に忠実であるというものがだいたい決まっていますが、フランス出版社の楽譜はミスプリントが多いです。わかりやすいものや、音楽家の間でミスプリントが有名になっているものがほとんどですが、もうこれに関しては留学生活が懐かしくなるような思いです。

○ **ジヴェルニーとのんほいパーク？**

フランス滞在中に一度だけ、外出先で「豊橋」の文字を目にしたことがあります。それは、パリから少し離れたジヴェルニーという街にある、画家クロード・モネの庭園に行ったときの

ことでした。美しい空間に酔いしれながら、ふと足元の看板に目を向けると、こちらの写真の看板が。なんと、モネの庭園と豊橋総合動植物園ののんほいパークは交流があるそうです。この看板のそばには、ツツジと柿が植えられています。見逃してしまう可能性も充分にあった広い庭園の中での「豊橋」の文字に大変驚きましたが、とてもあたたかく嬉しい気持ちになりました。



モネの庭園にある、豊橋との交流を示す看板

帰国後は、ソロリサイタルや主人とのデュオコンサート、0歳児から入場可能なお子様のためのクラシックコンサートなど、様々な形で演奏活動を行っており、今後も継続する予定です。もしお時間がありましたら、ぜひ一度コンサートにいらしていただけたらとても嬉しいです。

大阪に住み始めて4年が過ぎたところですが、愛知県の時習館高校を卒業したことがご縁として繋がり、こうして大阪で皆様にお会いできることになるとは思ってもみませんでした。幸せと感謝の気持ちでいっぱいです。とても心強く思っています。

何かと至らない点も多々あるとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年度総会・懇親会にてピアノの演奏を企画

**事務局より**  
 神戸迎賓館須磨離宮にて開催される第 50 回時習館同窓会関西支部総会・懇親会にて、ピアノ (pf) の演奏をお願いしています。ご主人の河合悠吾さん (フルート fl)、松井誠一郎氏バイオリン (vn) との競演もあります。

<p><b>前半</b> バッハ トリオソナタ 長調 (fl, vn, pf)                  リュリ ガヴォット (va, pf) va はヴィオラ                  ヘンデル フルートソナタ (fl, pf) 他</p>	<p><b>後半</b> シモネッティ マドリガル (vn, pf)                  シモネッティ マドリガル (vn, pf)                  アイルランド民謡 ロンドンデリー (va, pf) 他</p>
---	--

特集記事



大音楽家  
ピエール・ブーレーズについて



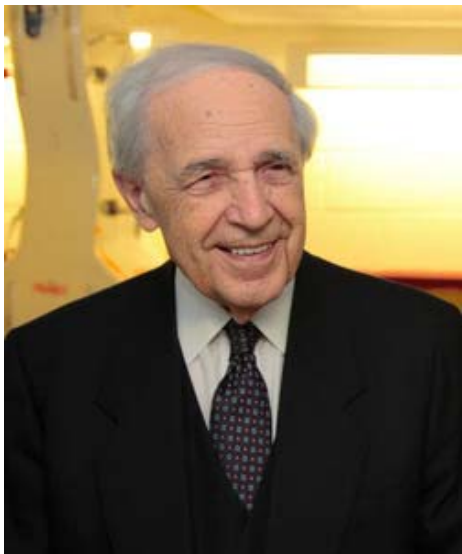
河合 悠吾

時習館同窓会関西支部の皆様はじめまして。

妻（時 56 尾野文香）が卒業生ということで、縁あって今回記事を書かせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

○ ピエール・ブーレーズの死去に衝撃

さて、2016 年は年明けから数々のニュースが飛び交いました。そんななか、私を始めとして多くのクラシック・ファン（オタク？）の心に大きな衝撃を与えたのが、フランスの大音楽家ピエール・ブーレーズ（1925-2016）の死去でした。作曲家、評論家、指揮者、教育者など音楽をめぐる様々な領域において偉大な業績を残したブーレーズですが、今回はこの場をお借りして、彼のキャリアの出発点である作曲家としての活動について簡単にご紹介したいと思います。

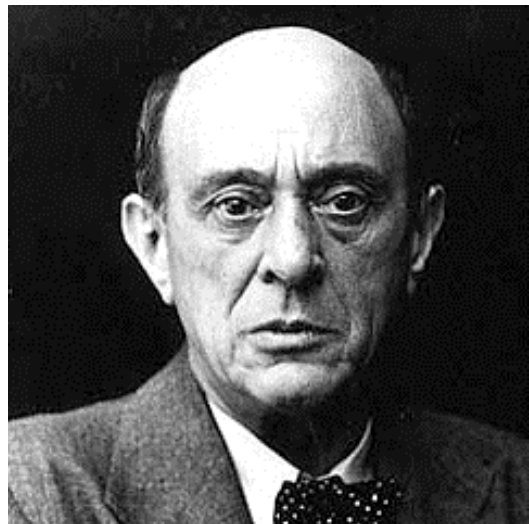


ピエール・ブーレー

○ 十二音音楽からトータル・セリエリスムへ

ブーレーズが作曲家として作品を発表するようになったのは第2次世界大戦の末期でした。この時期にブーレーズは、ルネ・レイホヴィッツという人物に師事していました。レイホヴィッツはシェーンベルクの重要な弟子の一人であり、フランスに初めて十二音音楽を紹介したことで知られています。それまで知っていた音楽と全く違う発想で作られた音楽に衝撃を受けたブーレーズは、まずこの作曲技法に取り組むこととなります。

\*\*\* 十二音音楽とは \*\*\*



アルノルト・シェーンベル

19 世紀末、それまで 200 年にわたって追求されてきた調性音楽（長調、短調を中心とした音楽）はその可能性の限界を迎えていました。

ついには無調音楽と呼ばれる、長調にも短調にも依拠しない音楽が開拓されましたが、それはまさに音楽を最終的などん詰まりへと導く物でした。こうした状況に閉塞感を抱えていたウィーンのシェーンベルクは、1920年代初頭に全く新しい音楽のシステムを発見します。

それが十二音音楽と呼ばれる音楽です。それまでの調性音楽、あるいは無調音楽は、必ず何かしらの音（主音）を中心とした音の序列を利用することで音楽的構造を生み出していました。それに対して十二音音楽は、音楽の共産主義とでも言っても良いと思いますが、すべての音を平等に扱う音楽でした。

具体的にどういう手順で作られる音楽なのか、簡単にご説明いたします。まず1オクターブ内のすべての音（半音をすべて含めて全部で12の音があります）、これらを好きな順番に並べて音の並び——「音列」（セリー）を作ります。十二音音楽では、音をこの音列の順番通りに使うことを厳守します。仮に音列の先頭を「ファ」の音に設定したとしましょう。すると音楽はまず「ファ」の音から始まり、これに残り11個の音が続きます。そして2回目の「ファ」が登場します。つまり、同じ音を続けて2回使うことはできず、音列内の音をすべて消化してからでないとい再び始めの音を使うことは出来ないのです。12の音を順番通りに、とは言っても十二音音楽にも和音は登場します。その場合は例えば「3～8番目の音を和音としてまとめて使う」というような操作が行われます。いずれにしても、これは音によって役割や序列が決まっている調性音楽とは根本的に異なるシステムであり、これを発見したシェーンベルクは「これによって向こう100年、ドイツ音楽の栄光は保たれるだろう！」などと発言したと伝えられています（その現実は…ご想像にお任せします）。

さて、シェーンベルクはこの新しいシステムの発明者ではありますが、その可能性を最大限に引き出すことはできませんでした。というのも、彼は音の並びこそ音列を利用したものの、音楽のそれ以外の要素—特に音楽の構造や形式

（ソナタ形式等々）—においては、何故か従来の調性音楽の物を使い続けたのです。これは大きな矛盾と言わざるをえません。調性音楽の音楽的構造は調性音楽のために洗練されてきた物です。本来ならば、新たな音列のシステムに見合った新たな音楽的構造を模索しなければならなかったのです。幸いこの十二音音楽のための新たな音楽の形は、シェーンベルクの弟子であるアントン・ヴェーベルンによって追求されます。ヴェーベルンは音列による作曲法を徹底的に研究し、独特な美学に貫かれた結晶のような作品を残しました。あまりに厳格に音列に基づいて作られているため、今日では彼の音楽は十二音音楽（ドデカフォニー）と区別され「セリエリスム」（音列主義、セリー主義）と呼ばれるほどです。



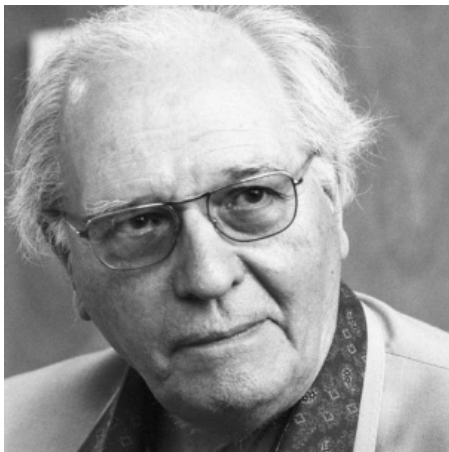
アントン・ヴェーベルン

\*\*\*\*\*  
 さて、ブーレーズはこの新しい音楽の作曲法を学び、それに基づいて作品を完成させました。ところが彼の作品は「あまりに音列を自由に使い過ぎている」として師匠レイホヴィッツの評価を得ることができず、ついに耐え切れなくなったブーレーズはこの十二音音楽の伝道師の元を去ってしまいます。この件に関してどちらが悪かったのか何とも言いかねますが、十二音音楽と袂を分かったブーレーズが次に興味を引かれたのは、より一層厳格なトータル・セリエリスムと呼ばれる音楽でした。

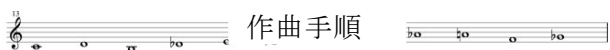
\*\*\* トータル・セリエリスムとは \*\*\*

ヴェーベルンは先述したように、あたかも音列を数学的に処理したような非常に厳格な音楽＝セリエリスムの音楽を作りましたが、その操作の対象はあくまでも音列、つまりは音の並びに限っています。対してトータル・セリエリスム（全音列主義）は、この数学的操作の対象を音の並び以外の音楽の要素、つまりは音の長さ（八分音符、四分音符等）や音の強さ（ピアノ、フォルテ等）、音の表情（スタッカート、アクセント等）、その他にまで広げて、それぞれの要素について列を作って作曲に利用します。こうした傾向自体はヴェーベルンの作品の中にも一部見られましたが、いくつもの要素を統合的に用いたのは、ブーレーズの学生時代の師匠であるオリヴィエ・メシアンが始めであると言われていています。

ではトータル・セリエリスムの作曲手順について、具体的にいくつかの要素に絞って考えてみましょう。まずは各要素の列＝セリエを設定します。



オリヴィエ・メシアン

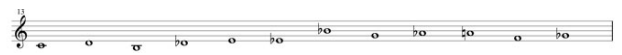


- ・音高のセリエ：1オクターブ内の12の音を好きな順番に並べる。
- ・音価（音の長さ）のセリエ：「例えば」十六分音符、付点十六分音符、八分音符、付点八分

音符、四分音符、付点四分音符、二分音符、付点二分音符、全音符の9つの音価を好きな順番に並べる。

・強度（音の強さ）のセリエ：「例えば」ppp、pp、p、mp、mf、f、ff、fffの8つの強度を好きな順番に並べる。

・アタック（音の表情）のセリエ：「例えば」アクセント、強いアクセント、スタッカート、テヌート、普通に弾く、の5つの表情を好きな順番に並べる。



セリエ毎に要素の数は異なりますが、作曲するにあたってはこれらのセリエを統合して用います。例えば、一番始めの音は、「ファ」の「八分音符」を「ff」で「スタッカート」に、といった具合です。セリエの中での順番を守らなければならないことは音高のセリエの場合と同様です。つまり、始めに「ファ」の音を使ったら残り11の音が出なければ再び「ファ」を使うことが出来ないのと同様に、上記の場合ですと、始めに「八分音符」を使った場合、残り8つの音価（音の長さ）を登場させない限り再び「八分音符」を使うことは出来ません。始めに「ff」を使ったら残り7つの強度も続けて登場させなければならず、始めに「スタッカート」を使ったら残り4つの表情を続けなければなりません。

\*\*\*\*\*

○ ブーレーズはどんな音楽を目指したのか

先述したメシアンの作品がある種実験的な作品であったのに対して、ブーレーズは徹底的にトータル・セリエリスムに則った作品を作りました。それにしても、こうまでしてブーレーズは一体どんな音楽が作りたかったのでしょうか？それは恐らく徹底的に私情を排した客観的な音楽、数学的に規定された絶対的な構造を持った音楽であり、つまりは新しい音楽的な美学の提示がしたかったのだと考えられます。

## ○ ブレーズへの批判

ところがここには大きな落とし穴があり、後に彼の作品は数々の批評にさらされることとなります。注目していただきたいのは、上記の各セリーの例の中で用いた「例えば」という言葉です。例えば音価のセリーでは、三十二分音符や六十四分音符、付点全音符や二全音符などもセリーに加えれば、セリーの数をもっとも増やすことが出来ます。強度やアタックについても同様です。つまりこれらのセリーにおいては、音高のセリーが 12 個の音と定まっていることに比べると、作曲者の意志による取舍選択という要素が非常に大きく関わってしまうと言えます。またそもそもの音高に関しても、1 オクターブ内の音に限らずに、例えば低いドの音から高いラの音まで、といった具体的に何十個にも音高セリーを設定することが出来るでしょう。となれば、表向きには客観性を謳っていながらも、裏では非常に恣意性に満ちた選択が行われていることとなります。

またこれに対して、恣意性に満ちたセリーの選択の結果として立ち上がる音楽それ自体は、実はほとんど自動的に組み立てられることとなります。各セリーを決定した時点で、自ずとセリーの組み合わせから楽譜に定着される音は決定してしまいます。そのため、作曲家による作曲という行為はこの際ほとんど介在しないこととなります。となれば作曲家は何のために存在するのか…各セリーを決定するためだけでしょうか？

さらには現実的な問題として、演奏者による作品の実現可能性と鑑賞者による音の聴取可能性があります。簡単に言えば、書かれた楽譜をどこまで演奏者が正確に再現することができるのか、聴き手はどこまで厳密に聴きとることが出来るのかという問題です。「アクセント」のついた「pp」の音と、「普通」の「mp」の音を、きちんと音量に違いをつけて弾き分けることは果たして出来るのでしょうか？あるいは「テヌート」の「三十二分音符」と、「スタッカート」

の「十六分音符」を、我々は違う長さの音として認識することはできるでしょうか？

## ○ 作曲家たちに大きな影響を与える

これらの問題は、それ自体としては音楽に関する哲学的考察として非常に興味深いテーマであると言えます。ブレーズにとってそれは意図しなかったものであり、不本意であったかもしれません。しかしながら、それは同時に、彼によるトータル・セリエリスムの徹底的な追求があつてこそ、見えてきた問いであると言うこともできます。こうした論争を通じてこそ、音楽は新たな地平を拓いていくことができるのです。ブレーズのこうした批判を恐れない徹底した音楽に対する姿勢は、彼と同時代や後輩にあたる作曲家たちにも大きな影響を与えるとともに大いに勇気づけるものであったと言えるでしょう。

## ○ 魅力あふれるブレーズの音楽変遷

ところで、彼はこの時点でまだ 20 代。ここから彼の音楽は更なる変遷を辿っていくことになるのですが…彼の作曲家としての足跡を簡単にご紹介するつもりが、ページはとっくに十分な分量になってしまったようです。

60 年代以降のブレーズの音楽には、「チャンス・オペレーション」や「ワーク・イン・プログレス」、「ライブ・エレクトロニクス」などといった魅惑的なキーワードが関わってきます。また若い頃は「怒れるブレーズ」と形容されるほどのキレ者で、あまりに過激な発言をくり返したためにテロ容疑で逮捕されてしまったという面白エピソード(?) など、お伝えしたいことはまだまだたくさんあるのですが、これはまた、次の機会に譲りたいと思います。

京都賞も受賞するなど日本にも縁の深かった大音楽家ピエール・ブレーズについて、この記事が広く皆様に興味を持っていただく一助となれば幸いです。

## 特集記事



## 東京五輪で満開に ～世界に羽ばたく日も近い、鈴木亜由子さん～

スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授

増田 明美



先日（2016年3月27日）、穂の国・豊橋ハーフマラソンでお邪魔した時に豊橋公園の桜はちらほらと咲いたばかりでした。まるで鈴木亜由子さんのようだと感じました。亜由子さんは時習館高校卒業の才女、きっと皆さんも大声援を送っていらっしゃることでしょ。頭もよくて足も速くて、気立てが良い。偉ぶったところが微塵もなく謙虚なので、誰からも愛されます。私も大好きで、亜由子さんのご家族ともとても仲良くさせて頂いているのですよ。

### ○ 温かい家庭に育まれて

豊橋ハーフマラソンの大会後もお米屋さんを営むご実家に伺いました。お邪魔するのは3回目です。「よう来て下さったあ」とお父さんの伸幸さんは玄関先で踊るような仕草で迎えて下さり、落語家のように面白い人です。お母さんの由美子さんは常にニコニコされていて控えめな方。おばあちゃんが五平餅を作って下さり、先生やお友達が沢山集まって亜由子さんの話で盛り上がりました。本当にいつも皆が集まってくる、炊き立てのご飯のように温かい家庭なのです。ご家族を知ると、あんなにいい子が育つ理由が分かります。皆さんも是非、五平餅を食べに「鈴木米穀店」にお出かけくださいね。

### ○ リオに向けてひた走る

2年前に日本郵政グループ陸上部に入社した亜由子さんは、昨年北京世界陸上

5 kmに日本代表として出場。決勝の大舞台で自己ベストの走りをみせ9位（8位入賞に0.29秒差、惜しかった）に。



世界陸上での鈴木亜由子さん

ただ、いまの力はあんなものではありません。今夏のリオデジャネイロオリンピック、その選考大会となる日本陸上選手権が名古屋の瑞穂陸上競技場で開催されます。大学時代（名古屋大）を過ごした場所で開かれるのも何かの縁ですね。きっとリオの代表を勝ち取り、本番ではメダルを獲りにいくでしょう。（あっ、プレッシャーをかけ過ぎた）

### ○ 東京ではマラソン日本記録を

先日、野口みずきさんとご一緒した際、「ご自身の女子マラソン日本記録を誰が破ると思う？」と聞いたら、「鈴木亜由子さん！」と答えました。知、徳、体が揃った亜由子さんのこれからが本当に楽しみです。満開を迎えるのは4年後の東京五輪でしょうか。

皆さんと共に大声援を送ります。

# 特別企画

# 時18回生(卒業後50周年)よりの寄稿

## 和と輪



## 卒業 50 年

## ふるさと遠く離れ来て

—風雪、人生の薬味—

吉田 真子 (時習 18 1 組)



私たち 18 回生は母校を巣立って半世紀を迎えた。団塊の世代 1 期生。常に激しい競争を余儀なくされ、話題を振りまいて生きてきた。山あり谷ありの人生だったことだろう。そこで関西支部の同期生有志に現在の思いを率直に語ってもらった。

「エエッー！高校卒業して 50 年？」。幹事さんからの執筆を呼びかける電話にしばし絶句。「うそじゃない、数えてみれば確かに…あの時はなんて若かったのだろう」と感慨にふける。この 50 年、何をしていたんだろう？

## ○医師を目指したころ

高校 3 年、医学部に行こうかと考えた時のことを思い出した。田舎の開業医の三人娘の長女であった事も無関係ではない。医者がどんなものか、ある程度わかっていた。もし跡を継ぐなら、医者の妻になるより自分が医者になろうか（結局は家を出てしまったのだが）。しかし、一番には「何か職を持とう」と思った。その場合、歯車のひとつにはなりたくない。医者なら最終、医者对患者の場では自分の意思が生かせるのではないか。

今、振り返って、この判断はマアママ外れていなかったかなと思う。医者といえども、病院勤務では歯車のひとつ。しかし逆に他の歯車に守られているともいえる。経営について、薬の管理、病棟の運営、栄養指導について考えてくれる人の中で、狭い意味の「医者」の仕事ができる。患者のために病院全体のシステムを変えたい医者もいるだろうが、私はできるだけ医学書を読み、患者と

話をする医者に自分を限りたかった。というか、それで手一杯だった。保育所のあと二次保育を頼んでも、迎えに行くのは周囲より早く帰らなければいけなかった。自分が熱を出した時にも「帰ってから家事をするだけの体力を残した」ギリギリまでしか働けなかった。患者さんの人生を左右する故に、こんな医者でいいのだろうか悩んだことも多かったが、とにかく 65 歳まではフルタイムで働いた。家族や周囲の人々の助けがあつたことと思う。

## ○精いっぱい生きる

心身共に限界を感じ、その後は週 3 回の外来のみとした。入院患者を持たないことは、ほんとに気持ちが楽である。守備範囲を狭くすること（専門外来と、一般外来少し）で、新しい知識の習得も軽作業？となった。幸い都会での勤務なので、わからない時は専門医に紹介できる。仕事とつながっている喜びもある。今になって思えば、仕事と共に身の周りのことは他人まかせにせず、自分でしてきたという事が一つの満足となっている。炊事も洗濯も自分でやった。おおまけして自分で生きてきたと言っていいかなー。

あとは、記憶力、判断力が低下していく中、いつまで医者をしていて良いかという問題になりそう。既に両親はなく、3 人の子供も一応(?) 自立。小説を読み、花を育て、いままで出来なかった家事をして、夫と二人で旅行をし…こんな楽な日々でいいのかなと思うこともある。ウーン、あとのくらい体が動くかな？ボケも心配だし。ま、今できる事を精いっぱいやりましょう！

卒業 50 年

生まれ故郷高野山で「第九」を奉納

堂本こすぎ (時習 18 1 組)



私は高野山の生まれです。開創1200年祭で賑わった昨年は、多くのイベントが催されましたが、この一環として「和歌山第九の会」の一員として5月11日に金堂で「第九」を“奉納”させていただきました。

樹齢数百年の杉の巨木が連なる聖域の中での大合唱。音響設備の不十分な外部での演奏だったので、指揮者の西本智実さんも声がきちんと届くのかどうか心配されておられました。第九の経験のない弁天宗の信者さんがほとんどで、私たちは応援隊として参加したわけです。全国の何か所かで練習を積んできたグループが、三回の合同練習でオーケストラと合わせて歌うことは大変でした。今までと違って音が向こうへ流れてしまって聞こえないので指揮棒をしっかり見て合わせることに注意しました。

奇しくも5月11日は母の日。このイベントに参加することは母の導きだったのかも知れません。

でも、お天気も良く故郷の懐に抱かれての「第九」。平和を祈り続ける聖地の中で、西本智実さんの指揮による700人の大合唱は歌った私達だけでなく聴いてくださった皆に感動を与えたようで、とても良い記念になりました。西本智実さんはほんとに素敵な指揮者です。エネルギーにタクトを振る姿は男性顔負けですが、時々、楽団の人に話しかける時は優しく、すっかり魅了されてしまいました。“西本智実とヴァチカンで歌おう”というツアーについていくことを真剣に考えてしまいます。

イベント参加が縁になり、国体の開会式(9月26日)にも天皇・皇后両陛下のご臨席の場で歌いました。

○豊橋は第2の故郷

高野山で過ごしたのは中学3年生まで。豊橋で豊城中学、時習館と4年足らずですが、青春の日々を送りました。豊橋は中身の濃い、大切な私の第二の故郷です。

母校で卒業50周年の集まりがあることを知った時から参加することをとても楽しみにしていました。25周年のときは現役で、皆キラキラ輝いていました。あれから四半世紀、それぞれの人生を歩み、現役を退いた同窓生たちはどんなになっているのだろう。そんな思いから、卒業50周年を迎えた記念の年に、関西支部に在籍している18回生の皆で『時習館かんさい』を飾っては、ということをご提案させていただきました。

ただ「言うは易く行うは難し」で、原稿集めは難航しました。関西支部には同期生が30数名、在籍していますが、高校時代まったく知らなかった人がほとんどです。何しろ13クラスもあったんですもの。

勇気を出してお電話で再度原稿の依頼もしました。18回生というだけの繋がりですが、皆さん感じよく話してくださって、「原稿は書けない」と言う人には近況報告や短いコメントをいただきました。

時間的なゆとりができた今、懐かしいお名前を見てあの頃を思い出し、旧交を温めていただければ嬉しく思います。

卒業 50 年

お年寄りに  
教えられたこと



水口 道子 (時習 18 2 組)

本職は薬剤師ですが、20 数年前、ひよんなことからお年寄りの問題に関わるようになりました。当時は介護保険もなく、私の周りには何か月も入浴できない人、ひとりで寂しく暮らしている人が何人もおられました。「何とか力になれるか？」これが現在の私の原点です。仕事の傍ら、開業前の銭湯での入浴や会食会、配食、生活援助などをボランティアで行っていました。ゆったり流れるお年寄りとの時間が好きで、年老いた人の傍らでぼーと過ごすことを夢見ていました。

月日は流れ、2000年に介護保険制度が施行され、ボランティアでなくても、ほとんどを制度を使って出来るようになったはず。そして今、訪問薬剤師、ケアマネージャーをしながら「関わった利用者の暮らしを支えよう」と、制度外のサポートも利用し、いろんな人と、その生き様に会い、いろんな御夫婦、家族のあり方にも巡り合ってきたなあ…と思います。サポートしているつもりだったけど、本当は、自分の人生の終わり方を、学ばせてもらっているなあ、というのが実感です。

その一例を以下にご紹介してみます。

★大正9年生まれ、四国で長らくひとりで美容師として暮らしをしていたが、足が弱り、買い物に行けなくなって娘さんのいる堺市へ…「大阪に来る前に10人ぐらいカットしてきたよ。今でも着付けはできるかな」。(すごいおばあさんです)

★大正生まれの御夫婦、認知症の夫と、目が見えない(黄斑変性症)妻のふたり暮らし。



夫は目代わり、杖代わり、文字通り、支え合っ

て暮らしてきたし、いろいろあったけど出来るだけ長く二人で暮らし続けたい。(見えない目で自叙傳も書いているすごいご婦人です)



お一人お一人に他の誰にもない生き様があって、そして終わり方がある。「終わりよければすべてよし」。私の終わり方はどんなのだろうか？と思いつつ、今日もお年寄りのお話を聴きに、また願いを察して実現するべく、自転車をこいでいます。しんどいこともあるけど、でも管理業務に追われていた現役時代より楽しい。



そろそろ、老人大学の学友のように、趣味や旅行三昧にも食指が動くことがあります。やっぱり体の動く限り「老いて体が不自由になっても、希望するところで人として尊ばれて過ごしたい」との思いの実現のために微力でも頑張っていこう、何よりも入浴後のあの清々しい顔、美味しいものを食べた時の笑顔に会えるのですから。ただ若いスタッフの邪魔にはならないように、と思っています。

夢は気のあったもの同士で支えあい、自立しあって生き、終えたい。超高齢社会問題の「張本人世代」として覚悟をもって、終わり方の勉強中でもあるのです。



もしもし近況報告

◇山本 学 (2 組)

元気に過ごしています。まだ現役で仕事をしています。 瀬戸内市在住

◇伊東 省吾 (3 組)

23 年前に脳卒中になり、右手足に麻痺が残り、今も毎日リハビリに通っていますが、仕事は現役で頑張っています。 福津市在住

◇宮城 治男 (3組)

退職後、不動ヶ丘「ほっとらいふ」の立ち上げに参加、地域ボランティアとして老人の買い物や病院への移動支援を行っています。

富田林市在住

◇山本 義二 (4組)

最近胆のう摘出手術をしましたが、元気に過ごしています。

滋賀県野洲郡在住

◇片山 健一 (5組)

退職後、旅行やギター、囲碁と、現役の時はできなかった趣味を楽しんでいます。

岡山県児島郡在住

◇中野日奈子 (5組)

子どもたちが巣立った後、主人と二人ひっそりと過ごしております。

津市在住

◇島本 洸 (6組)

現在まだ京都精華大学に勤務しており、忙しい毎日を過ごしています。

京都市在住

◇梅村 康義 (9組)

まだ現役で開業医を続けています。おかげさまで元気にしております。

木津市在住

◇鈴木八十二 (10組)

高校教師を退職後、悠々自適で過ごしております。

京都府相楽郡在住

◇宮路くに子 (13組)

近くに長男、長女の家族が住んでいるので可愛い孫達と毎日過ごせます。

箕面市在住



以下、再び寄稿原稿を掲載します。お顔の写真もいただくように極力、努力しましたが、やむなく空白になった方もいらっしゃると思います。原稿内の組はいずれも卒業時。

「一度は同窓会へ」

江辺 和子 (時習 18 5組)

あっという間に年月が過ぎ去り、高校卒業後50年を迎えたなんてびっくりです。

振り返る暇もなく、あたふたと送る毎日ですが、いつの頃からか『時習館かんさい』を届けて戴くようになりました。力作ぞろいの紀行文や活動報告に感心するばかり。そんな私の同窓会初参加は平成 26 年 6 月 15 日 (奈良ホテル) でした。

由緒ある会場に加え「興福寺の阿修羅像の拝観」に心惹かれての参加。不慣れで緊張していた私に、同席の方々や懐かしいクラブの先輩が、気軽に話しかけてくださり、楽しく和やかな時間を過ごすことができました。

「一度は同窓会へ」の思いを果たし、高校の最新情報や皆様の活躍ぶりに大いに刺激を受けました。気分が高揚していたせいか、帰途は道に迷ってしまうというおまけ付きでした。

黎明期の

マイコンと共に



中野 成能 (時習 18 7組)

今では社会の隅々まで浸透しているマイクロコンピュータ (マイコン) ですが、黎明期だった 40 年ほど前には電卓の性能向上のために使われているだけでした。

「電卓用に開発されたマイコンを、もっと他の用途に使用できないか」というプロジェクトが勤務先で始まりました。その一員として応用できる用途や、顧客へのサポートはどうしたら良いのか、ということを経々考えるようになりました。

顧客がマイコンを思うように動かせない時、基本的なチェックポイントをいくつか質問するだけで問題が解決することが少なからずありました。お客様は、どうしても解決することができない場合に電話をされてきます。問題に関する情報をいっぱい持っておられるので、それを整理するお手伝いをすれば、その情報の中から答えを見出す方も多かったように思います。

逆に、すぐには解決できずに、マイコンの設計の内部まで踏み込まないといけないような場合もありました。

顧客のマイコンの使い方は様々で、発生する問題も多種多様でしたので、この対応で最も苦労しました。

今、パソコンに使用されているマイコンは64ビット、電卓用は4ビットです。私が携わったマイコンは4ビットと8ビットで、8ビットマイコンを使用してパソコンを造っていたことを考えると隔世の感があります。

マイコンの黎明期に、こうした仕事に従事することが出来たのは、とても楽しい思い出です。また、仕事を通じて、マイコンがなくてはならない今の時代を構築するのに、少々の貢献ができたのかなと思っています。

## 思い出深いオランダ



小田 健治 (時習 18 10組)

ご無沙汰しています。何から書いて良いのか迷いましたが、今、まだ現役として元気に会社生活をしています。

一応 社長ということですが、国内(本社、岡山県、福岡県、それに今後、豊橋に生産工場を造ります)、海外(アメリカ、中国、タイ、インドネシア)といろいろな問題を抱えながら毎日、苦悶しています。そろそろ嫌気がさしてきている状況にもあります。

時習館卒業後、名工大を出て、三菱自動車工業に就職し、現在の(株)アステアに至っています。

大学、社会人とラグビーに明け暮れました。子どもは息子3人、それぞれ、もう独立しています。これまでで印象深いことと言えば三菱自動車工業時代にスウェーデンのボルボ社と共同で車の生産に携わり、3年半、オランダのマー ストリヒトに駐在(2000年末に帰国)した

ことが苦しくもあり、楽しくもあった思い出です。卒業50周年の集いに参加するつもりです。皆さんにお会い出来る日を楽しみにしています。

## 大学で自閉症の研究



熊谷 高幸 (時習 18 10組)

高校を卒業してから、東京に7年、仙台に4年、そして福井に来てもう39年になろうとしています。高校のときは文学に興味をもち、文芸部に所属し、勉強については落ちこぼれていました。高3の最後の二カ月間の猛勉強で何とか早稲田の文学部に入り、文学に取り組みましたが、卒業後に入社した印刷会社が心理学の本を多く印刷していたことがきっかけとなり、心理学に転じました。

東北大学の大学院で障害児心理学の研究を始め、福井大学に赴任してからは自閉症の研究を続けています。

時の流れは速いですね。自分の思いを何とか残しておきたいと思い、これまで6冊の本を書いてきました。その多くは、いま多くの青少年の間で問題になっている自閉症についての本ですが、文章を書くのに、10代の頃から小説を読み、文を書いてきたことが生きていると思います。

昨年(平成27年)に出したのが『天才を生んだ孤独な少年期』という本=写真=です。天才には自閉症の世界に片足をかけているような人が多く、また、私自身の研究生生活と重ねて書き上げ、アインシュタインやスティーブ・ジョブズなどが身近に感じられる内容にもなっています。



今は、大学で定年を迎えた後、特命教授(も

う3年目で最後になりそうです)ということでも相変わらず毎日研究室(ときどき喫茶店)と自宅の間を往復しています。研究室をなくしても仕事は続け、本を出すつもりですが、頭がフルに働くのはやはりこの数年だと思えます。その意味では、高校生の頃よりずっと勉強し続けてきたことを改めて考え直そうとしています。

しかし、今があるのも高校時代のつまずきのおかげであり、天才たちと一緒にするのはおこがましいけれど、今回、本の中で取り上げた天才たちが経験した孤独とつまずきに強い共感をおぼえています。

## 還暦過ぎ学ぶことの

### 楽しさ知る

古跡 恭子(時習18 10組)

高校を卒業して大学を終えて結婚をして、専業主婦で40年余りを過ごしてまいりました。振り返れば、嬉しいことも辛いこともそれなりにありましたが、“平凡”の言葉がぴったりの人生です。

でも平凡っていい言葉だと思っています。道端の野草が好きで、20年ほど前からお友だちと里山散歩をしています。“可愛いな!”と心なやませてもらっています。

還暦を過ぎてから、自然(植物、樹木、動物、昆虫など)を学ぶ会に参加しています。

年だけ重ねて、少しは世の中のことを知っているような気持ちになっていましたが、知らないことばかりで戸惑いました。花が木が虫が、生きるための知恵と工夫をこらし頑張っていることを知るたび、ルーペで見るたびに、そのすごさときれいさに驚き感動しています。小・中学生のころにした化学実験もしています。学生時代に“こんなに一生懸命、楽しんで実験したら違う人生があったかな”、とふと思うことがあります。

“学ぶことが面白く知ることの楽しみ”を持ち続けたいと思っています。

## ホノルルマラソン完走

### 目指し特訓中

池田 和子(時習18 11組)



卒業50周年なんて早いですね、現在は福岡に住んでいます。退職後は今まで無関心だった地域のことに少しは役に立ちたい、といろいろなところに顔を出しています。15年からは、大学の市民講座・ホノルルマラソンを完走しようと、スローマラソンに挑戦しています。と言うより、そそのかされて参加しています。自分でも信じられません。ゆっくりゆっくり、やれるまで頑張ってみます。

## 大震災後の神戸の

### 復興見守りたい

市原 俊彦(時習18 12組)

神戸に住んでいます。卒業して50年、あの阪神・淡路大震災からも20年を過ぎました。

神戸の街も、震災の跡は見られません。時のたつのは早いものですね。どう街が変わっていくか、見守っていききたいと思います。

## 思い果たした働くことの喜び

### 一病息災で生きてきました

酒井 康利(時習18 13組=旧姓太田)

平成21年4月、37年間勤めあげてきた会社を退職しました。毎年、毎年、与えられてきた40日間の年休を1日も使うことなく、退職の送

別会当日まで働き、後輩たちに送られて、満面の笑みをたたえて、お世話になった会社を後にしたのが、つい先日のような気がします。

「よく休みを一日も取らず退職したね」と言われることもあります。振り返ってみると、42歳の時の発症が働くことの意識を変えたのではないのでしょうか。病気になった当初は「親としての責任も果たせていない中で、これから一体どうなるのだろう」と、不安でいっぱいでした。心の底から湧き上がってくるこの気持ちと闘いながらの毎日。ここまで来れたのは不思議であるとともに、感謝の一言に尽きます。

退職後、半年間の充電期間を経て、CM業を立ち上げ現在に至っています。

その後は、いろいろな方のご支援をいただき、やってきましたが、一昨年、またも、病気が襲ってきました。

この時の気持ちは、自分と妻だけの問題ととらえ、妻を一人にさせないという、強い意識だけでした。このとき、主治医の先生から「2年、3年でも頑張れば、現在の医学の進歩によって、命がつながっていく可能性を信じることでですよ」と言われました。

命をつなぎながら若い方たちと一緒に仕事ができる喜びを、日々感じる毎日です。



(次の**南極探検隊員募集広告**は30年近くも前、新聞の全面広告に載っていた言葉。どこの会社か記憶がありませんが、妙に気になり編集子が書き留めていたものを、そのまま引用させてもらいました。悪しからず)

### ★南極探検隊員募集広告

求む隊員。  
至難の旅。  
僅かな報酬。  
暗黒の長い日々。

絶えざる危険。

生還の保証なし。

成功の暁には

名誉と報酬を得る。

1900年、南極探検で知られるアーネスト・シャクルトン卿は、同志を募るために、こう呼びかけた。伝えたいことを率直に言ってのけただけなのに、何故か我々に感動を与えてくれる魅力的な文章だ。そこに「意気」を感じた多くの人々が応募したのはいうまでもない。

現代なら、さしずめ「宇宙飛行士募集」といったところか。

(以下は皆さん、お馴染みであろう有名な詩です)

### ★青春の詩

サミエル・ウルマン

青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。

優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。

年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。

歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や、狐疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年、月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。

年は七十であろうと、十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。

曰く驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる。

人は自信と共に若く 失望と共に老ゆる。

希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜び、勇気と壮大、そして偉力の靈感を受ける限り人の若さは失われない。これらの靈感が絶え、悲嘆の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを固くとざすに至れば、この時にこそ人は全くに老いて神の憐れみを乞う他はなくなる。

卒業 50 年

メイド・イン・ジャパンの凄さ

大工道具 手彫切手に見る職人魂（神戸から）



熊谷 信哉（時習 18 4組）

「ものづくりニッポン」が世界で注目を浴びているのはご存じの通り。実用性だけでなく、さりげなく芸術性も加味しているところが実に心憎い。テレビでも外国の職人さんが、わざわざメイド・イン・ジャパンの刃物などを銘柄や会社を特定して指名。その使い勝手に感謝している場面によく出くわす。

誇り高く、されど名は残らず…。今年の神戸大会にちなみ、市内にある「竹中大工道具館」と「切手文化博物館」を通じて職人たちの「小宇宙」とその周辺を紹介しよう。

たに設けられた。

「触れる展示」にも力を入れており、先史時代の石斧、大工の教科書『雛形本』、継手・仕口（しくち）の模型などを手に取ると遠い時代の職人たちの息吹が伝わってくる。



法隆寺建立に役立った斧、鉦（ちょうな）、やりがんな、鑿（のみ）、鋸も展示。大陸から渡来した職人たちに刺激されながら、製造技術を大革新、ずっと下って明治維新を機に西洋から入った技術や道具も巧みに取り入れながら現在に至るという大きな流れも間近に見ることが出来る。

大 工 道 具

○竹中大工道具館

企業博物館として1984年（昭和59年）7月にオープンした竹中大工道具館は大工道具だけを集めた国内唯一の博物館。開館30周年を機に新幹線・新神戸駅のすぐ近くに移転・新設された。

古墳時代から日本人が建物を造るために使ってきた鋸（のこぎり）やカンナなど約3万点の大工道具を所蔵。このうち1000点ほどを展示している。

目玉の一つは唐招提寺金堂組物（くみもの）の一部を再現した実物大の模型＝写真。宮大工の技の結晶で、間近で見ると日本ならではの、きめ細かな気配りやこだわりの職人芸に驚かされる。また伝統のカンナ削りを体験できる木工室などが新

○大きな道具箱

大工道具は品質の良いものほど摩耗するまで使われ、やがて消滅するという厳しい宿命を背負っている。「これを民族遺産として収集・保存し、さらに研究・展示を通じて後世に伝えていくことが館設置の目的」（同館・赤尾館長）という。館内に飾ってあるものは全て手入れが済んでいる。収集した時に錆びているものは、きれいに磨きあげられる。他の道具類も定期的に手入れを続けている。

どの道具類もすぐ使える。道具館というより「大きな道具箱」と思う方が分かりやすい。

### ○五意達者

展示を見ていて印象に残った言葉に「五意達者」というものがある。江戸初期の大工技術書『匠明』（しょうめい）に書かれている。大工の棟梁が身に付けるべき五つの技のことで「五意達者にして昼夜怠らず」。五意とは①式尺の墨罌（すみがね）



常設展示「歴史の旅へ」コーナーでは触れる展示を充実。パネルをタッチすると職人たちが生き生きと動き出す

②算合（さんごう）③手仕事④絵用（絵様）⑤彫物——。現代風に訳せば①寸法の比例を熟知し、曲尺を駆使して複雑な木組みの納まりを図解できること（設計図を書く）②工費や材料の積算ができること③頭だけでなく、手も自在に使い部材の加工をする④建築彫刻の下絵を描けることはもちろん、⑤みずから彫刻もできること。この全てに熟達していることが大工の理想で、それぞれに昼夜を問わず精進せよ、と説いている。

「穴掘り3年、鋸（のこ）5年、墨かけ8年、研ぎ一生」という言葉もある。鑿（のみ）で、ほぞ穴を掘るだけで3年。長い長い職人の修行は大工に限らない。

### ○オール金物の鷲もお目見得

館を訪れた時、1階のロビーに翼、胴体、羽など全てのパーツを金物で造り上げた巨大な鷲が、

でんと“鎮座”し、その迫力に度肝を抜かれた。高さ3・2メートル、翼長5メートル、重さ1・5トン。

全国有数の金物の産地・兵庫県三木市にある業界団体の若者たちが同館に、鋸、

包丁、鎌、鉋（なた）などを持ち込み、麦藁の束に突き刺すようにして造った。鷲の鋭い爪は根切り、足元はギムネを使うなど、金物の特色を生かして巨大な鷲に仕上げられており、今にも大空へ舞い上がりそうだ。

「これを造る時のマニュアルはなく、先輩たちに教えてもらいながら組み上げました」と青年部の一人が話してくれた。伝統はしっかりと受け継がれている。



大工道具だけで作った三木金物のシンボル・金物鷲。伝統は着実に若い世代に受け継がれている

## 手彫切手

### ○切手文化博物館

神戸市北区有馬町に「切手文化博物館」という切手の殿堂がある。2015年に創立10周年を迎え、4月29日から5月31日まで手彫切手を中心とした特別展が開かれた。

国内から海外の切手商などに売られ、それを買戻した「里帰り」の手彫切手も数多く展示された。明治初期、お雇い外国人のアドバイスでわざわざ印刷したものも含まれており、壮観の一語に尽きる。

ここには龍の腕がない「腕落ち」と、龍の頭部が薄い「頭部損傷」というマニア垂涎の珍品も完全シートの中に収められている。

## ○京都の著名な銅版画家が彫り上げた

維新当時の一流の職人が持てる技術を最大限につぎ込んで彫った手彫切手は、日本が世界に誇れる美しい芸術品であり、貴重な文化財だと思う。古色蒼然として、一見、地味だがいくら見ても飽きない。紙の芸術品とはよく言ったものだ。

## ○手彫切手とは…

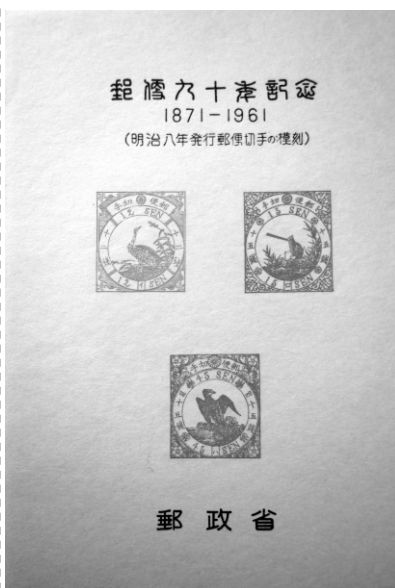
手彫切手は日本の郵便制度がスタートした1871（明治4）年に発行開始。1876（明治9）年までの約5年間に45種類、発行された。

「龍切手」「桜切手」「鳥切手」の3シリーズがある。

当時の日本は切手の小さなスペースに精巧な印刷をする技術を持ち合わせていなかった。



①日本最初の郵便切手類。手彫切手のトップに君臨する龍文切手も（切手文化博物館提供）②全日本郵便切手普及協会が郵便九十年記念として1961年に発行した手彫鳥切手。どちらも明治初期の職人技が隅々まで行き渡っており、ほれほれする。日本にもこんな素敵な切手を発行した遠い記憶がある



外国へ注文する時間も資金的な余裕もなかった。そこで白羽の矢を立てたのが政府紙幣の印刷を請け負っていた京都の松田玄々（げんげん）堂。

手彫切手はすべて手彫エッチング銅板による凹版印刷で、印面バラエティーが豊富。

「手彫切手」のトップに君臨する「龍文切手」は現行の通常切手よりは、やや小ぶりで、19・5ミリ四方。2匹の龍を左右対称に描き、その周りを七宝文様と雷紋で囲んでいる。中央の額面の部分には黒字で「錢四十八文」の文字が見える＝写真。

原版を製作する際、1シート40枚（縦5枚、横8枚）分の切手の図案を1枚ずつ手で彫って製作したことから、手彫切手と呼ばれる。

当然、どの切手もよく似た図柄だが、厳密に言えば1枚1枚が微妙に違う。切手の細かい特色を調べれば印刷された時はシートのどの場所にあったか分かり、40枚のシートを印刷時の正しい位置に再現することも可能。龍文切手は原版が2版あったことが判明している。これだけでも80枚の原版を彫ったことになる。

本やレコードでも版を重ねることがあるのと同じ理屈で、この変化発見に意欲を燃やすマニアも多い。いずれにしても日本切手の手彫職人技の凄さを証明する材料となろう。

この「龍文切手」に魅入られた人は世界中にいる。これまで製造法から使用状況に至るまで数え切れない研究書、解説書が世に出ているのも、うなずける。

## ○郵便料金は超初期に「不平等」なくす

新式郵便制度は明治4年に創業され、2年後には、ほぼ全国に行き渡った。しかし外国郵便はまだ開かれておらず、外国へ直接、郵便を差し出すことは出来なかった。外国へ郵便を出す時は、開港された神戸、神奈川、長崎などにあったイギリス、アメリカ、フランスの在日外国郵便局に郵便物を持ち込み、日本の切手ではなく、持ち込んだ局の国の切手を貼らなければな

らなかった。

外国の郵便局が日本国内で業務を行うことは通信主権の侵害に当たる。当時の日本は郵便分野でも不平等条約を結ばされていた。事態を打開するため、駅逦寮はまずアメリカとの条約締結を目指し、アメリカ人のサミュエル・M・ブライアンを超高給のお雇い外国人として採用、アメリカとの交渉に当たらせた。この結果、日米郵便交換条約が締結され、1875年（明治8年）1月から日米間では郵便の交換は対等の条件で行われることになった。

（この項は切手文化博物館資料による）

### ○半世紀かかった他分野の不平等条約撤廃

明治維新政府は成立当初から各国と不平等条約を撤廃するための交渉に入った。日本最初の対等条約は1888年（明治21年）の日本・メキシコ通商条約だが、条約改正が全て終わるまでには明治期いっぱい、かかった。

郵便料金は超初期に不平等条約を撤廃したことになる。日本の職人たちが精魂込めて作り上げた手彫切手が日本の誇りと伝統を携え胸を張って世界中に散っていった。

### ○大珍品があわや煙に

余談だが、この貴重な文化遺産が煙となって消えてしまいかねない際どい局面があった。戦前の某日、名古屋の八事山興正寺の庭先でのこと。寺の小僧さんが、焚火の中に、せっせと不要書類を放り込んでいた。古い切手に興味を持っていた方丈さんがふと見ると、この龍文切手数枚を貼った実逦便が焚火の中にあった。方丈さんは猛ダッシュして“救出”。まさに間一髪であった。

後で詳しく調べてみると、高野山の塔頭から興正寺に宛てた書状で、ここには「腕落ち」と、「頭部損傷」という先に触れた大珍品がそろって貼られていた。しかも消印は「鶴亀」とめでたく、非

常にユニーク。郵便制度導入初期は消印の形式は決まっておらず、郵便局長の自由裁量に任されていた。こうした差し出し局も日付もなく、単に料金先払いを示すだけの消印があっても不思議ではないが、それにしても…。

《参考書籍》

『日本切手とその集め方』 天野安治著 郵趣サービス社」など

◇ ◇ ◇

同窓の皆さん、神戸にお越しの際は、ぜひ、このユニークな二つの博物館に足を運んでみてください。控えめながら、ものづくりに魂を込めて取り組んでいる日本の職人さんの凄さの一端が味わえるはずです。

今年は18回生が卒業して50年。この半世紀にはどんなことがあったのか、新聞の1面記事から主なものを拾ってみました（いずれも神戸新聞から。数字は発生段階の第1報。ニュースが更新され、変わることもあります。スペースの都合で見出しの一部を省略したケースもあります）。

1961（昭和36年）1月21日

ケネディ氏、米大統領に就任

第一声、若い世代の決意示す

平和へ東西で協力

世界に新しい法秩序を

1964（昭和39年）10月1日 夕刊

東海道新幹線 営業を開始

東西から「ひかり」 快調、日本の新動脈

1964（昭和39年）10月10日 夕刊

東京オリンピック開幕

アジアの空に聖歌燃える

つどう94か国の精鋭

1967（昭和42年）6月6日

アラブ諸国・イスラエル ついに全面戦争

国境三方面で激戦 首都を互いに空襲

1969（昭和44年）7月21日

人類、いま月に アポロ着陸船いよいよ降下  
午後、世紀の第一歩  
1970（昭和45年）3月14日 夕刊  
日本万国博 晴れやかに開幕  
未来へ“進歩と調和” かけ  
77か国、人類の祭典  
1971（昭和46年）6月18日  
沖縄返還協定、日米で同時調印  
衛星中継で東京-ワシントン結ぶ  
72年復帰へ踏み出す  
1972（昭和47年）2月3日 夕刊  
札幌オリンピック開く  
アジアで初の白銀の祭典  
35か国1655人が参加  
1976（昭和51年）7月27日 号外  
田中角栄前首相を逮捕 東京地検  
ロッキード捜査、一気に“核心”へ  
対日工作費で疑惑 最大の疑獄事件に発展  
1977（昭和52年）9月4日  
王、世紀の大記録756号  
栄光の一打、右翼へ一直線  
見事、重圧はね返す  
1978（昭和53年）5月2日  
やった!史上初の“一人旅”  
植村さん、北極点に立つ  
犬ぞり苦闘の762キロ  
1980（昭和55年）9月23日  
イラン・イラク全面戦争に  
日本船銃撃、1人負傷  
イラクが軍施設攻撃命令  
首都（テヘラン）空港など爆撃  
石油ルート切断の恐れ  
1985（昭和60年）11月2日  
阪神ついに日本一  
長崎、初回満塁アーチ  
36年目の悲願達成  
西武に4勝2敗  
1986（昭和61年）12月29日  
列車、余部鉄橋で転落 香住の山陰線  
7両、カニ工場など直撃 従業員ら6人死亡

お座敷列車 回送中に突風  
1987（昭和62年）5月4日  
朝日新聞支局襲われる 西宮  
猟銃男、記者を射殺 1人重体  
夕食中、無言で2発  
1989（昭和64年）1月7日 号外  
天皇陛下崩御 皇太子殿下がご即位  
激動の「昭和」幕下りる  
新元号を直ちに選定  
午前6時33分 87歳  
史上最長のご在位 62年超える  
1990（平成2年）10月3日 夕刊  
統一ドイツ誕生 45年間の分断に幕  
欧州「新時代」へ 人口、経済の大国  
1993（平成5年）12月10日  
姫路城 世界の遺産に 法隆寺地域も  
世界遺産委 建物で日本初  
1994（平成6年）7月9日  
初の日本人女性飛行士  
向井さん宇宙へ  
米シャトル打ち上げ 搭乗7人  
地球219周 2週間で82の実験  
1995（平成7年）1月17日 夕刊  
近畿で大地震  
死者203人 不明331人  
神戸、洲本 震度6 県南部一帯を直撃  
淡路島震源 M7・2 家屋倒壊や火災  
320人生き埋めか JR全線不通  
1995（平成7年）3月20日 夕刊  
地下鉄16駅に猛毒サリン 東京・営団  
6人死亡、870人が被害  
同時多発、無差別テロか  
1997（平成9年）11月25日  
山一証券 自主廃業 負債3兆  
日銀特融を発動 年明けに清算手続き  
政府が公的資金を検討  
2011（平成23年）3月12日  
東北で震度7 大津波 死者数百人  
家のまれ、不明者多数 M8・8 国内最大

卒業 50 年

高校時代の思い出を辿る

鈴木 康浩 (時習 18 6 組)



○はじめに

時習 18 回は、来年に卒業後 50 周年を迎える。この記念に「当時の思い出や、これまで、これからのことなど何でも良いので書いて『時習館 かんさい(30 号)』に載せませんか」と、関西在住同期から熱心な呼びかけがあった。それではと、私は 50 年前の当時の高校時代を振り返り、心に残る幾つかの思い出の断片を綴ってみた。

○生い立ち

昭和 22 年 9 月豊川生まれ。団塊の世代 (昭和 22~24 生) の第一期。幼少の頃の記憶には、豊川稲荷の門前や国鉄豊川駅前には、まだ傷痕軍人の姿を見かけることがあった。



二代目・豊川駅舎(飯田線)

戦後「産めよ増やせよ」の第一次ベビーブーム世代ゆえに、とにかく同級生は大人数。一時的なプレハブもあった。何をするにも大勢なので、いつも競争社会の中で揉まれてきた。小 3 まで豊川小、小 4 からは分割されて新設の桜木小、50 人/学級。豊川東部中では、50 人/学級でなんと 14 学級もあった。高校まで豊川で過ごした。大学は大阪・蛍池に住む。刀根山を通る中国道は、当時まだ工事中であった。

○毎日が自宅と高校の往復の繰り返し

入学は昭和 38 年 4 月。一学級は何と 54~55 人の大所帯で、さらに 13 学級もあった (前年より 2 学級増えたとのことである)。この年の 10 月には創立 70 周年記念式典 (「時習館・写真 70 年史 (昭和 38.10.18)」) が挙行された。

1 年生の教室は、古い木造の校舎で、新館から渡り廊下を通った先の旧軍兵舎 (旧本館) だった。あるとき、兵舎が火事だとの知らせに驚いて、豊川から学校まで見に行き、写真を撮ってきたのを覚えている。(昭和 39 年 3 月旧本館より出火し全焼)



旧本館全焼跡

通学は、飯田線豊川から豊橋へ、渥美線で南栄と通い、いつも家と高校との往復の繰り返りで、途中寄り道することなどなかった。喫茶店に立ち寄ったこともない。時折、参考書を買うため駅前の精文館に寄るぐらいであった。帰りの飯田線車内には、いつも立ったまま参考書を開いている眼鏡の K 君 (新城方面に帰る) がいた。車内で立ったまま勉強している人は他に居なかった。やはり周囲から見られていることの気恥ずかしさが先に立ってしまうのだった。

## ○今も心に残る恩師

1年は10組で、担任は倉内久邇夫先生(国語(現代国語・漢文))。国語の授業は分かり易く、また楽しく定評があった。とても熱心で面倒見の良い先生。それ故、クラス全員の結束は強かった。

1学年終了時に、このクラス仲間を命名しようとなり、1と10とを懸けて「一灯会」と決まり、全員が再会を約束した。2年次も担任は倉内先生になり、続けて随分とお世話になった。

後に、先生の退職を機に、先生を慕いお世話になった我々(1年次～3年次)がお祝いをしたいと多数集まり、ご夫妻をお招きして「倉内先生退職記念パーティー」が催された。(昭和61.8.16、於・豊橋グランドホテル)(写真参照)

## ○生徒会活動と交遊

2年次の中頃、同クラスの山口隆由君から生徒会役員(会計)をやらないかと誘われた。彼は前期の役員(会計)で、後期役員の候補者を探していたのであろう。私は無口でおっとりしていて、とても人前に出て何かするような性質ではなく、晴れがましいのは苦手。しかし、彼に強く説得され、色々と考えた末に受けることに決めた。それまではクラブ活動にも入らず、毎日が家と学校との往復の繰り返し。このまま単調で味気ない生活をずっと続けてよいのだろうかという疑問を感じ思い直した結果であった。当時は、自ら生徒会役員に立候補したいと思う人はあまり居なかったと思う。

役員は会長、副会長、書記、会計の7名で、会長は土井正男君、以下は山田幸二郎・中尾孝義・鈴木康浩、山本節子・河合良美・川岸典子。



生徒会・後期役員。新城・桜淵にて(昭和39年)

毎日、授業が終わると生徒会執行部室に集まり、暗くなるまで談話しながら過ごした。帰りの電車はひとりで、夜遅い帰宅が続いた。執行部室の周りには、新聞部や演劇部の人が居たり、岩波の雑誌「世界」を持ったY君が居て、時折会話に加わったりした。会計では、各クラブとの予算折衝と予算策定に携わったのを覚えている。

役員同志のまとまりは良く、時々親睦を兼ねて、「田原・蔵王山」「伊良湖岬・恋路が浜」「新城・桜淵公園」など訪れたことは楽しい思い出である。



生徒会役員・有志で田原・蔵王山にて(昭和39年)

## ○学校祭(時習祭)

学校祭の文化祭の日には、全員フォークダンスを踊った。やはり男女が手を組むのはぎこちなく、緊張の連続であった。「オクラホマミキサー」「マイムマイム」「ジェンカ」の定番の曲。(フォークダンスはS34～から行われたとのことである)

また体育祭では、各クラスがそれぞれ事前に材料を調達し、工夫を凝らして大きなプラカードを製作し競い合った。体育祭の後夜祭として、男子のみが「ファイヤーストーム」を大いに楽しんだ。円陣を組み、大太鼓の響きに合わせて「三河男児の歌」で雄叫びを上げた。

## ○受験勉強で親友と励まし合う

当時は受験塾の存在など知らず、聞いたこともない。2年の時、クラスの山口隆由君から「Z会」なるものを聞いた。受験のための通信添削

の会社らしいと分かり、試しに入会して少し続けたが、難問ばかりのため長続きはしなかった。受験勉強とは、教科書に加え参考書と問題集で勉強することであり、学校の実力試験で確認することであった。英語の参考書の中でも特に気に入って、大いに活用したものは、荒巻鉄雄著「英文解釈」であった。数研出版の「チャート式数学」、東京出版の「大学への数学」があったのもなつかしい。

また、試験が終わってからの息抜きが楽しみであった。親友の山本康男君（1年の時一緒のクラス）とは、お互いに受験勉強で相談したり刺激しあったりした。また期末試験や実力試験が終わるのが待ち遠しかった。終わる度に、一緒に行楽に出かけて気分転換した。「蒲郡・竹島」「三谷・弘法山（ロープウェイに乗った!）」「新城・桜淵公園」「伊良湖岬・恋路が浜」など思い出深い。

当時、大学受験雑誌のひとつだった「蛍雪時代」に「ペンパル」募集欄があった。そこであまり深く考えずに手紙を出したところ、思わず返事が届き嬉しくて文通が始まった。お互い大学受験を目指す者同志だったので、それぞれの信条や日頃の思い悩みや受験勉強のことなどを交換して励まし合ったものだった。

## ○関西支部総会に参加した初めの頃

最初に参加したのは、第11回総会（昭和42.5.25）、神戸・海洋会館だった。出席者は37名。その内、現役の大学生・院生（時習15～時習19）が20名も占めていた。同期（時18）は6名（深谷修次、熊谷信哉、鈴木昌彦、白井吉朗、

疋田憲次、鈴木康浩）が参加した。

その後しばらく間が空いた後、第24回（平成2年度、大阪ターミナルホテル）に出席しそれ以降も、度々参加した。

懐かしい人と再会した思い出がある。熊谷信哉君（時習18）の仲介で、時習17～時習19の5人が神戸で集ったミニ同窓会（平成18.11.30）。参加された東京支部の中村一行さん（時習19）とは40年ぶりの再会。実は、彼は生徒会役員・会計になった時、私から業務を引き継いだ相手だったのである。（『時習館かんさい(21号)』参照）

このところ関西支部総会には、あまり出席できていない。また、理事に連ねていながら名ばかりで何らお役に立てず心苦しい限りである。今後は、なるべく参加して、諸先輩・同期・後輩との対話・交流を楽しみにしたい。



倉内久遷夫先生退職記念の会 時習館第18回生 昭和61年8月16日 於・豊橋グランドホテル

(昭和 61.8.16 於・豊橋グランドホテル)

# 会員便り

羽ばたく転機は



会員だより



## 比較言語学ことはじめ

菅原 民生 (時習 10)



まずは「行くと来る」についての考察から始めます。これは私が随分古くから抱いていた設問でした。

### ○ 「行く」文化圏と「来る」文化圏

お母さんが子供を呼んだとします。「ご飯ですよ。早くいらっしやい」。日本語ですと返事は「はい、すぐ行きます」。ところが英語だと “Yes, I’m coming!”。直訳すると「すぐ来ます」となります。同じようにギリシャ語やラテン語を祖語とする独、仏、伊、スペイン、ポルトガル、ロシアなども “coming” となるようです。聞く人の位置で答えています。

ところが中国語では「馬上我去」。馬上は「すぐに」、去は「行く」です。韓国語でも日本と同じ「行きます」と答えるそうです。言う人の位置で答えています。この違いの境目はどこにあるのでしょうか。

あちこちで尋ねてみました。ネパール語、フィリピンのタガログ語、マレー語、インドネシア、ミャンマー、いずれも “coming” でした。これらはサンスクリッドを祖語とする言語です。「行きます」という文化圏は意外と少なく、“coming” 文化圏が圧倒的に多いように思われました。

### ○ 日本語教育を始めました

最近日本にも外国人が多くなりました。旅行者も増えましたが、日本に滞在する、あるいは永住する外国人も多いようです。住民とのトラブルを少しでも少なくしようということで、どこの自治体にも国際交流協会というのがあり、日本語教室を開いています。私も地元木津川市と隣の精華町

に日本語教師として登録して、日本語を教えています。

### ○ ヒンディ語とネパール語

年が明けたので一昨年ということになりますが、ネパール人の女性を担当したことがありました。英語が話せない人なので初めは意思の疎通の図りようがなく途方に暮れていましたが、もう一人の英語も日本語もほんの少しだけわかるネパール人（別の先生が担当している）に助けってもらってかろうじて単語の意味を伝えてもらっている状態でした。

そこへ同じ年頃のインド人の女性が加わって来ました。やはり「あいうえお」からなので一緒に教えていました。何カ月かののち、話題が毎日利用している近鉄の駅の名前から、地下鉄への乗り換えの話になりました。インドの女性にまず地下鉄を教えようとしてします。“subway” … 通じない。“tube” … 通じない。“underground” … 通じた！そうです。インドはイギリスの植民地だったので、英語もイギリス式でした。

ここでびっくりすることが起きました。インド人がネパール人にヒンディ語で説明して通じたのです。ヒンディ語とネパール語は相互乗り入れができるのでした。その後、授業の中でどちらか早く理解した方がもう一人に説明できるようになりました。両者の文字を調べてみたらどちらもデーバ・ナーガリー文字というのを使っていて、読み方もほぼ同じでした。

### ○ インド・ヨーロッパ語族

念のため両方の数の読み方、1 から 10 までの

数え方を比べて見たところ、ほとんど同じであるばかりでなく、英語やフランス語と子音の使い方がとてもよく似ていました。インド・ヨーロッパ語族（印欧語族）という括り（くくり）は話には聞いていましたが、それが具体的な形をもって目の前に立ち現れた瞬間でした。

イラン人に「ペルシャ語ってどんな言葉ですか」と聞いたところ、「フランス語に似ています。特に文法が似ていて、ペルシャ語からフランス語を学ぶのはとても楽です」という返事でした。ペルシャ語は言語的にも地理的にも印と欧のちょうど真ん中に位置しているのでしょう。

### ○ アルタイ語族

ウイグル族の人は「ウイグル語は「行く」文化圏です。トルコ語もウイグル語と同じアルタイ語族だから同じはずです」と言いました。これが正しいければ4番目の「行く」文化圏の発見です。

### ○ ドナウ川の名前の由来

ウィキペディアで「ドナウ川」を調べていたら、名前の由来について次のように出ていました。

ドナウ川（ドナウがわ、ラテン語：Danubius、スロヴァキア語：Dunaj、セルボクロアチア語：Dunav、ドイツ語：Donau、ハンガリー語：Duna、

ブルガリア語：Дунав、ルーマニア語：Dunăre、英語、フランス語：Danube）は、ヴォルガ川に次いでヨーロッパで2番目に長い大河である。

現在の名ドナウ（ドイツ語）と各国語でそれに相当する名前は、ラテン語の Danubius ダヌビウス に由来する。これはローマ神話のある河神の名である。スキタイ語、あるいはケルト語からの借用語がもとになっていると考えられている。

語頭 Danu はインド・ヨーロッパ祖語で「川」を意味する「\*dānu」という単語より来ている。ケルト神話のダヌ（Danu）、インド神話の水の女神ダヌ（Danu）など、印欧語族の神話にはこの語が残っている。黒海周辺にはドン川、ドニエプル川、ドネツ川、ドニエストル川など、同様の単語から派生したと見られる川の名が多数ある。語尾 au は古ゲルマン語で流れを意味する ouwe に由来し、ドイツ語名称に 1763 年以降使われている。ドイツ語では以前は Tonach, その後は Donaw の名が使われ、現在に至る。日本語表記は、ドナウ川、ダニューブ川。（後略）

一本の川についてこれだけの情報が得られました。山川草木、いずれも人類の歴史を担っている可能性があるのだとしみじみ感じたことでした。



**私の一枚**

2年6組の同窓会の写真です…平成27年9月28日に、担任だった三浦聡先生ご臨席のもとに盛大に開催されましたが、うっかり写真を撮ることを忘れしました。これはその晩宿泊したメンバーです。

会員だより



音訳ボランティア 25年

岡田 博子 (時習 24)



音訳ってご存知ですか。視覚障害者のための録音図書を作成することです。現在ほとんどボランティアが担っています。

○ 音訳は視覚障害者の「目の代わり」

音訳者は公立図書館に所属したり、どこにも所属していない音訳サークルも沢山あります。音訳は視覚障害者の「目の代わり」として本に書かれている内容の意味を変えずに正しく声で伝え、読み手の解釈を入れないように読みます。

ここが朗読と違う点で感情移入は極力しないで淡々と読みます。また図表、グラフ、写真なども説明を加えて読まなければならないのでいつも悩むところです。私にとってこの活動は教養講座と人間修養が無料で受けられ、なおかつ素晴らしい仲間(およそ100名)も得られる正にオイシイ所です。

○ 新しいことに挑戦

私が音訳を始めたのは三人目の子供が小学校に入学した1988年の春からでした。後にも先にも広報誌をあんなに熱心に目を通したのは一度きりですが、神戸市立点字図書館所属の音訳者養成講座の募集記事を見つけ、これだ！面白そう！とすぐ応募しました。募集が2年に一度だけと後で知り、縁があったのだと思っています。何か新しいことを始めたかっただけで何でもよかったのですが。幸いにも選考に通って2年間、週1回の講習が始まりました。

○ 標準語の難しさを知る

制作される録音図書は視覚障害者のネットワーク「サピエ図書館」にアップされて全国の利用者に送られますので、標準アクセントで読むことが要求されます。講習の初めのころ、豊橋で生まれ育ち大学時代を東京で過ごした私は、自分は標準語を話していると勘違いしていました。標準アクセントの習得は関西出身の友人よりは楽かと思われました。ところが名詞や動詞に助詞や助動詞が付いて複雑になると細かな間違いを沢山指摘され、読むことの難しさを感じました。自分がどんなアクセントで読んでいるのか、どういう場合に間違えるのかを理解し正しく発音できるまでには年月がかかり現在でも油断するとすぐに癖が出てきます。また、漢字を思い込みで読んでいることがなんと多いことかと驚かされました。たとえば「茨城県と茨木市」どちらもイバラキです。「容易いだらう」はタヤスイダロウが正解(ヨウイダロウと読んで いは誤植と思い込みました!!) などなど。音訳をしていなければ、こんな思い込みにも気づかなかったでしょう。お陰でまず辞書を引くことが習慣になりました。

○ 良い録音図書に生き甲斐

講習が終わると同時に点字図書館に所属する音訳グループに入りました。各自録音制作する本の他に、広報誌、雑誌、新聞等の定期刊行物の制作、録音図書の校正・編集、医療・時代物・実用書などの勉強会、グループの運営委員会と

仕事は山のようにあります。趣味の山歩き以外の私の時間は ほとんどここで費やされました。

私は義父の介護のため5, 6年活動から離れた時期はありましたが、辞めたいと思ったこともなく続けてこられました。それは、一冊の本

が完成した時の達成感と、世代の異なる仲間が集まって良い録音図書を作ろうと協力する姿勢の清々しさが堪らないからだと思います。ボケ防止のためにもこのボランティアを一日も長く続けたいと思っています。

### 「音訳」の仕事風景



録音室  
音訳者は読むことに専念し、モニター係がパソコンで録音します。



編集室  
校正が終わるとパソコンで段落、ページ付け等の編集作業をして利用

会員だより

子どもたちの未来のために  
大人ができることは



大清水「ミナクル」

垣内 亜佐子（時習 32）

2016年2月13日(土)、豊橋市「大清水まなび交流館（ミナクル）」で【土曜学習フェスタ in 豊橋】というイベントが開催されました。実はこのイベントは、私が勤める「大阪の教育コンサルティング会社（株）キャリアリンク」が文部科学省から受託した【学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究事業】の一環で、豊橋市教育委員会の協力により実現することになりました。

て今を比べると、学校教育のあり方に大きな変化を感じます。社会環境が激変する中、「情報教育」「キャリア教育」「グローバル教育」など、教科書の学び以外にも学校に求められるニーズが多様化し、保護者や地域、企業・団体などの多様な人々が学校と連携、協力していく必要が出てきているのです。様々な外部の人材を学校に受け入れていく体制—それが国の推進する「開かれた学校づくり」です。

○ 時習館先輩の紹介で

この長〜い名前がついた事業は、簡単にいうと、文部科学省が推進する「土曜日の教育活動」のモデルとなるイベントを全国4カ所で実施するというもので、全国の中核都市が対象となります。「せっかくなら、ぜひ私の育った豊橋で！」という想いから、時習館の2年上の先輩に相談したところ、市教委の学校教育課長を紹介いただき、研究校の植田小の校長と、さらにちょうど2016年度から大清水で「土曜学習」を計画中だった生涯学習課の担当につないでいただいたことで、とんとん拍子に実現への道筋ができました。実は、他の3地域（高知、和歌山、横浜）の事業受入れ候補地探しでは非常に苦勞をしたものですから、時習館の先輩からいただいたご縁に心から感謝しています。

○ 土曜日の教育活動とは

子どもの登下校の見守りや学校の掃除活動への支援のほか、農業体験や工場見学の受け入れなど、地域の方々が学校に関わる様々な場面は皆さんもご存じのことと思います。こうした平日の学校活動に加え、学校がお休みの土曜日を活用して「子どもたちの豊かな学びを地域みんなで支援する」ことが「土曜日の教育活動」の主な目的です。

今回の【土曜学習フェスタ in 豊橋】は、大清水地域の4小学校・1中学校の児童・生徒を対象に「ミナクル」という地域の施設を活用して実施する全国でも先進的なモデルとなります。第一部「土曜講座」は8つのブースで、地域企業であるJA豊橋の料理実習や武蔵精密工業のモノづくりの講座、愛大生による「トヨッキーのキャッチフレーズをつくろう！」ワークショップ、地域教育ボランティアの方々のおもちゃづくりなど、多様な講師が子どもたちに豊かな体験の場を提供しました。

○ 開かれた学校づくり

私の3人の子どもたちはもう成人しましたが、自分の小中学校時代、子どもたちの時代、そし

第二部では、教育長、学校長、企業、地域教

育ボランティアそれぞれの立場の皆様による、これからの豊橋の教育についてのパネルディスカッションをしました。

## ○ 豊橋の子どもたちの未来

先日、第二部のパネルディスカッションの打ち合わせで、パネリストの皆様とお会いし、お話を伺いました。

「小学生時代は勉強以上に多様な体験が重要だが、今は体験（塾、スポーツ教室、旅行等）をお金で買う時代になり、それが教育格差を生み出している。その格差を解消し、より多くの子ども達の多様な体験を可能にするためには、地域の方々の関わりが必須で、その連携のしくみをつくるのが行政の役割」との教育長のお言葉には非常に共感しました。

また、教員OBの地域教育ボランティアからは「子どもは地域の宝。自身が教員時代は目の前の子どもに学習指導することに追われていたが、退職して新たな目で子どもを見ると、可能性をたくさん秘めた子どもたちがやりたいことを何でも応援したい、という気持ちになった」とおっしゃいます。今回のイベントの準備を通

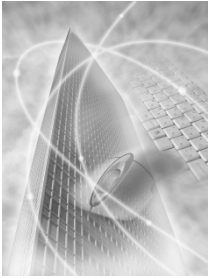
して、教育委員会、教員、愛大生、地域の方々…たくさんの豊橋の方々と触れ、地域の教育力とともに豊橋ならではの産業や特産物などを改めて知る機会にもなりました。高校を卒業して以来、大学からはずっと関西暮らしの私ですが、豊橋市の教育の可能性をひしひしと感じ、ぜひイベントを成功させねばとプレッシャーを感じていました。

(この記事を読んでいる方には、その結果も出ていていると思いますが…)

## ○ 地域とつながり、地域に貢献すること

私は、仕事は大阪が拠点ですが、住居は日本の原風景ともいえる田んぼと山に囲まれ、満天の星が見える素晴らしい自然に恵まれた丹波篠山にあります。少子高齢化が最大の課題となる地域でもあり、さまざまな課題解決の取り組みが行われています。

子育ても一段落。これをきっかけに、これからは仕事も少しスローペースにしながら、自身が老後を過ごすことになる地域と、そして未来の子どもたちのためにできることを考え始めてみようかな、と思っています。



## SE という仕事

鈴木 富美子 (時習 36)



大学時代、物理を専攻していた私は、総合電機メーカーでソフトウェアの開発を行う部門に配属されて以降、25年以上SEと呼ばれる仕事をしています。何をやっているのか分かりづらい職業に就いて、気が付けば長い年月が経っていました。

### ○ 総合電機メーカーに就職して

大学4年間が終わるころ、世はバブル景気に浮かれて、学生の就職状況は空前の売り手市場。日本の電機メーカー各社はコンピューター関連の技術者を大量に採用していた時代でした。

まだ、パソコンが非常に高価で、電機メーカーのソフトウェア開発職でも1人1台使える職場は珍しく、大学時代にプログラミング経験が無いことも気にならないような時代でした。



卒業前にヨーロッパを旅行しました。  
ノートルダム寺院の前で

余り深く考えずに総合電機メーカーへの就職を決め、新入社員研修でC言語を学び、配属されて、産業用コンピューターのOS（オペレーティングシステム）の開発に携わることになりました。

### ○ 復職を機に転勤

その後、娘の出産で育児休業を取得しました。産休に入る前に、神戸に新しい事業所が出来る話があり、復職時に転勤希望を伝えておりました。産休前にいた職場は、常時多忙で、通勤にも1時間以上掛かっていて、復職後の時間のやりくりが心配だったので、神戸に転勤させてもらいました。幸い事業所のある神戸市東灘区の保育所に入所が決まり、近くの社宅に入れてもらえました。

復職後の大変さは予想をはるかに超えていました。保育所での集団生活では、接触の多い乳児はすぐに風邪や病気がうつり、体調を崩しやすく、また親である私も一緒にうつってしまい、週末毎に医者に行った後は寝込むような生活でした。その頃、配偶者の仕事は多忙を極め、育児、家事、仕事を抱え込んだ私は、こんなに大変なのかと絶望的になりながら綱渡りのように毎日を過ごしていました。

### ○ 被災後は1年毎に転居

転勤後2年弱、娘が3歳になる3カ月ほど前に阪神・淡路大震災で被災し、住んでいた社宅は全壊。震災の翌日、社宅の人たちと阪急西宮北口駅まで8キロ歩いて阪急電車に乗り、大阪

に出て、当時堺に住んでいた伯母の家に厄介になりました。会社も被災し、大阪に一時的に事業所を移すことになりました。伯母の家には2週間ほど居候して、転居先を探したところ、摂津富田にアパートが借りられ、被災地でも通常の値段で引越しをしてくれる業者が見つかり、アパートの近くの保育所も決まりました。

その後、年度の変わり目に大阪市大正区に、翌年には事業所が震災前の場所に戻るようになったので、芦屋市にという具合に、住居と保育所を変わり、翌年、震災から2年3カ月経って、神戸市東灘区に転居し、娘も震災前に通っていた保育所に戻り、ようやく居住環境が落ち着きました。

## ○ 転職

バブル崩壊後の景気の悪さに追い打ちをかけるように震災が発生し、関西の景気は暫く非常に悪い状態から抜け出せずにいました。その間、仕事の内容は、OS開発から離れ、公的機関や大手のお客様向けのシステム上で動くソフトウェアの一部を開発する仕事に変わっていきました。大きなシステムの一部の開発は、自分でプログラミングをする機会が少なく、また、システムの全体が見渡せないことから少し面白みに欠け、娘が小学3年生になるころ、10年以上勤めた会社を思い切って退職しました。



10年前、配偶者の実家(鹿児島)に帰省した時  
配偶者の家族と一緒にアの開発職として転職する

には少々年齢がいており、子供はまだ手のかかる年齢で、夜遅くまで残業ができる状態ではなく、相変わらず景気は良くないという個人的にも世間的にも条件の悪い中、偶然の出会いで今の会社に転職しました。

## ○ SEの仕事

「コンピューター関連の仕事をしている」とか、「ソフトウェアを開発している」といった話をしても、何をしているのかが分かりにくい(伝わりにくい)職業だなあ、と日頃感じています。

もちろん、仕事の内容や進め方は会社ごと、部署ごとに異なりますが、役割分担がはっきりしていて、やっていることは同業者間では似通っています。普段私たちがどのようにソフトウェアを開発しているのかを少しでも説明できればと考えています。



卒業25周年の総会前夜祭で  
剣道部、柔道部の皆さんと

ソフトウェアの開発を行うにあたって、お客様から依頼がある場合と、会社の製品として同じものを複数のお客様に販売する場合とで若干の差はありますが、まずはどのようなソフトウェアを開発するかを決めます。お客様からの依頼で開発する場合は、どのような、を決める際に、どの位掛かるか(期間、金額)も大切なポイントです。お客様のご要望は、通常多くの曖昧さを含んでいます。「こんな感じで」「これ位で」といった曖昧さを一つ一つ具体的な内容

に置き換えながら、開発するものを決めていきます。

社製品を開発する場合は、使われる場面を想定し、こんな機能があれば買ってくれるだろう、便利と思ってくれるだろう、と想像しながら開発内容を決めていきます。

開発の内容は、なるべく詳しく文書に記載してきます。納品後、使っていただくときになって、思っていたことと動作が違う、ということを防ぐための大切な作業です。きちんと文書に記載して、お客様に確認していただければ、ご要望事項が正しく汲み取れているかどうか、文書作成の段階でお互いに確認ができます。

どのようなものを開発するかが決まったら、具体的にどのようにプログラミングするかを設計します。設計といいますと、工業製品（例えば自動車）や家を建てる場合の設計図が思い浮かびますが、ソフトウェアの設計も似た点は多いと思います。イメージに浮かびやすい設計図は、部品やパーツ毎に細かく形や寸法が書き込まれていると思いますが、ソフトウェアでも、どんな部品やパーツで組み立てていくかを設計段階で決めていき、設計書に記載します。

設計の内容はソフトウェア独特のものですが、何を作るかを決めたらいきなりプログラミング（製造）を行うわけではない、というところは工業製品と同じです。

そして、設計が終わったら、大きいものとプロトタイプ（試作品）を作ります。小さいものでしたら、プログラミングを行います。

プログラミングが終わったら、最初に決めたとおりに動作するかをテストします。文書に記載してあることと違う動作になった場合を「バグ」といいます。「バグ」は近年色々なシステムで想定外の動作をして停止したり制御不能になったりした場合に、新聞等に「ソフトウェアのバグ」と書かれているのを目にする機会が増え、一般的な単語になってきましたが、コンピューター関連の専門用語の一つです。お客様が

使われているところで「バグ」が見つかった場合、修正してお客様のシステムの入れ直しとなることが多いのですが、ソフト会社もお客様も大変な作業が必要になります。そこで、なるべくそのような可能性を低くするために、テストがとても大切になります。

このようにソフトウェアの開発では、やることが順番に決まっていて、それぞれに担当者を決めて、全体が予定通りに進んでいるかをチェックしながら、必要な作業を実施していく、ということを行っています。ソフトウェアの開発イコールプログラミングと思われがちですが、プログラミングは色々な作業のうちの一部といえます。プログラミングはとても大切な作業ですが、開発に携わる人の中にはプログラミングをしない人もいます。私も近年開発用のプログラムを書く機会は減ってきています。



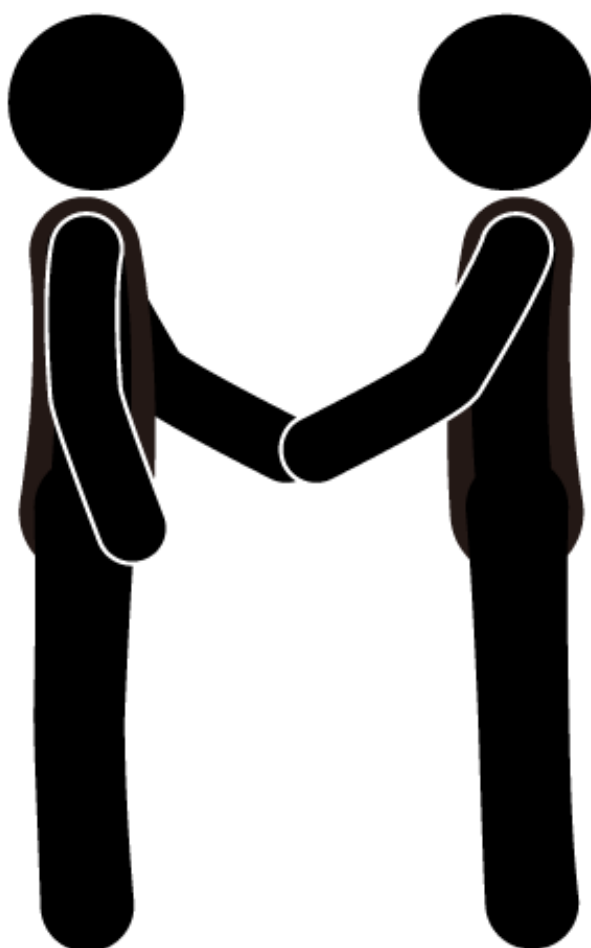
2011年秋、JKLの行事に初参加  
嵐山の料亭でお食事をしました

## ○ 今後の私

日進月歩のソフトウェア開発の仕事に携わって、いつの間にか25年以上たちました。いろいろな技術が目まぐるしく移り変わるこの世界で、興味の方向は物理現象ばかり。選ぶ職業を間違えたと思いながら、やり直しがきくわけではないので、この仕事を続けていくのですね。

本当はアナログ人間なのですが。

# 特別投稿



特別寄稿



「写真」は我が「天職」か？

河合 利夫（時習 13）



写真撮影を趣味としていたが、今では、これが天職のような気がしている。カメラから被写体を覗いていると、枠の中で捕らえられる景色には新たな感動を与えてくれるものがある。「これは一体何なのか!!」と驚愕すら覚えるときもある。まさに至福の時である。

ただただ凄いと云って見上げているばかりであった。

○ オーロラの魅力に負けて

昨年2月、カナダのイエローナイフへオーロラを見に行った。カナダに住む三女が出産することになり、女房と行くことにしたが、私は暇を持てあますので（娘を口実にして）、娘たちの知り合いのオーロラカメラマンの高坂さんにガイドを依頼し、エドモンドを經由して行った。4泊5日の短い旅であったが、幸運にも素晴らしいオーロラを見ることができた。期待以上の旅であった。この誌面を借り、その様子をご報告する。



オーロラの「大爆発」

○ オーロラの「大爆発」にただただ唖然

1日目は小雪がばらついて、オーロラは雲の上に出ているとのことだったが、見ることは出来なかった。高坂さんの提案で撮影予定の湖上で、夜間撮影の予行練習をして、撮影条件を把握し、寒冷地への服装対応を決めた。これが功を奏して翌日、満天の星空のもと、夜9時に現地に着いて直ぐ、素晴らしいオーロラが出たので、最初から綺麗に撮影することができた。20年オーロラを撮影してきた高坂さんも初めてと云うオーロラの「大爆発」で1時間後には空全体がオーロラで覆われ、私の21mmのレンズでは入り切らず、た

○ 異なった形のオーロラにも出会う

翌日は夜12時までオーロラは全く出る気配もなく、私たちはホテルに帰ることにした。途中、1時ころになって、オーロラが見え始め、別の湖に行き、朝の4時まで撮影を続けた。前日のオーロラとは全く異なる筋、帯状で形も次々と変化して正面、左右、後ろに発生し、大きくはないが形としては、とても面白いオーロラが撮影できた。



筋、帯状のオーロラ



刻々と変わるオーロラを堪能する



### ○ 極寒の地もなんのその

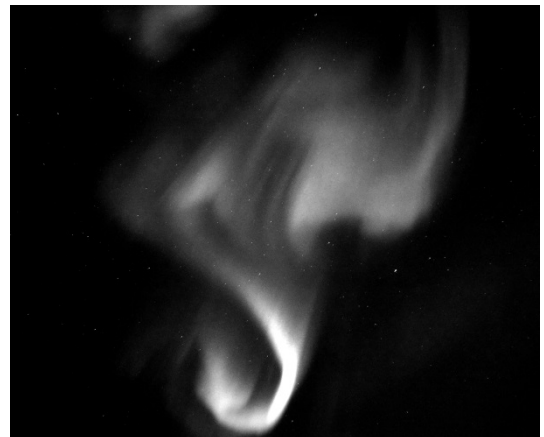
外気温は氷点下 38 度まで下がっていた。徹底した防寒と足裏、腹、背、ポケット左右のカイロのお陰でカメラを扱う両手以外は何ともなかった。カメラの電池は 1 時間弱で温度が下がって機能しなくなり、何度も取り換えた。電池はポケットに入れて 1 時間もすると機能を回復したので助かった。さらに幸いなことに風がほとんど無かったので目出帽の目まわりも空気が溜まって、動かないので睫毛も凍ることなく、8 時間近くも外に出続けることが出来た。

その翌日のオーロラは 2 日間の素晴らしいオーロラに比べ平凡で撮影はしたが発表する程のものはなかった。

アイスロードは片側 3 車線で琵琶湖程もある湖に縦横に、氷の厚さが 3m 以上になる 12 月末から 4 月初めまでほとんどの湖上に作られていた。湖の対岸にダイヤモンドが出て、原石を運ぶために作られたのが、始まりだそうだ。湖上地帯のこの地方は、夏は舟と水上飛行機が交通手段で大変不便ということである。

### ○ 良い写真が撮影できた喜び

どんな過酷な、状況下でも良い写真が撮れたら、一瞬にして、その厳しさを忘れる。これが私の習性だと思う。ここで撮影した写真は、豊橋のギャラリーに展示している。ここではその一部を掲載するが、少しでもその迫力を感じていただけたらと思う。



左右、後ろに現れたオーロラ

特別寄稿



時習館同窓会名古屋支部  
女性の会 (JNL) 10年の歩み



田中 定子 (時 10)

JNLが発足し今年で10年目になります。

2006年7月22日「時習館同窓会女性の集い」を関西支部女性の会 (JKL) の主催で豊橋2名、関西支部8名、名古屋支部から9名の方々が名古屋マリオットアソシアホテルで昼食会を開きました。その顔合わせの席で名古屋支部にも是非女性の会を立ち上げて欲しい、との要望がありました。

○ JKLの後押しで

JKLは発足後、すでに数年を経ておりいろいろな活動をされているとのことでした。支部総会では先輩や後輩のお名前や顔も分からず、どうしても同級生ばかり固まってしまうがちです。そこで、JKLの後押しを受け私たちが2007年2月24日に発足会を兼ねた集いを名鉄グランドホテルで行いました。



2007.2.24 JNL 発会の集い  
名鉄グランドホテル 涵梅舫にて

そして、同年11月18日にJNLとして第1回目を名古屋市内の美術館と有名料亭で昼食会という企画を立てました。JKLから8名、JNLから22名の参加者があり大盛況で幸先の良いスタ

ートをきりました。



2007.11.18 第2回JNLの会  
古川美術館と為三郎記念館観覧  
昼食会会場 松風閣にて

○ 名古屋近郊から日間賀島に「なばなの里」

これまで近場では名古屋城や熱田神宮、少し足を延ばして伊勢神宮や明治村、犬山城と昼の鶴飼い見物などを実施しました。少し変わった企画としては2012年12月2日、三河湾に浮かぶ日間賀島へ「ふぐ料理」を食べに出かけ、寒い時期でしたが関西支部から5名の方が参加してくださいました。知多半島の河和港から日間賀西港まで20分の船旅も楽しく、旅館からは神野名古屋支部長のお口添えもあつておまけの料理や飲み物も出て、帰りはお土産まで頂きました。



2012.12.2 第11回 日間賀島とふぐ料理  
日間賀島西港にて

翌年は桑名の「なばなの里」で夜のイルミネーションを楽しみました。イルミネーションは夕方5時過ぎに点灯するため帰りを心配しましたが、皆さん美しい光の芸術を十分堪能したと言ってくださいました。



2013.11.4 第12回 なばなの里  
ベゴニアガーデンにて

### ○ 湯の山温泉と御在所岳

2年前の2014年10月は湯の山温泉で昼食後、御在所へロープウェイで上がり少し早目も紅葉を楽しみました。頂上では皆さんがバラバラになり、携帯で連絡を取り合ったりしましたがなかなか居場所が掴めず、時間までに旅館に辿り着いていただけるかひやひやでした。近鉄湯の山温泉駅での集合、解散も良かったと思います。



2014.10.26 第13回 湯の山温泉と御在所  
御在所岳山頂にて

### ○ 有松絞に触れる

去年は地元の有松を企画しました。「有松絞」で有名なこの町を案外地元の人間が訪れていないのです。西隣には鳴海宿があり、江戸時代も有松は旅人が通り過ぎて行くだけの所だったようです。ここに知多半島の阿久比から移住した竹田庄九郎と言う方が絞を始め、それを尾張藩が特産品として保護したため東海道を往来する旅人た

ちが土産物として買って行くようになり有松絞が広く知られるようになりました。今もこの町は旧東海道の面影を残しています。竹田邸は名古屋の指定文化財になっており現在も子孫の方が住んでおられます。



2015.10.5 第14回 旧東海道散策と有松絞  
の体験 昼食会場「小や町」にて

### ○ 女性の企画に男性も参加を

名古屋支部には“ふるさと発見”をテーマに平成6年(1994年)から「トヨの会」がスタートし2年前まで18回にわたり奥三河や田原、遠州地方を巡りました。懐かしいふる里もほぼ巡り終え、また参加者も高齢化し開催が難しくなりました。そんな事情もあり当初JNLは女性を対象にしていますが、数年前から男性にも参加を呼びかけ毎回数名の方が参加して下さるようになりました。今後は開催地の対象も名古屋近郊から以前巡ったふる里の三河地方をもう一度訪れる企画を立てても良いのではと考えています。

### ○ 「時習なごや」を活用、若い人の参加を

これからのJNLはなるべく大勢の方にこの会を知っていただき、若い人の参加も促したいので年2回発行される「時習なごや」を活用したいと考えていますが、現在は実施後の活動報告にとどまり、次回の計画が決まらないため予告ができません。支部からは活動費も頂いており、それを有効に使うためにも若い方々の知恵をお借りしてこれか先も長くこの会が続けられるようにしていきたいと思っています。

## JKL JNL からのお知らせ

JKL 発足 15 周年、JNL 発足 10 周年を記念して、JKL、JNL 合同行事を企画しています。概要は次の通りで、後日、案内書及び申込書を各幹事より配布いたします。皆様のご参加を期待しています。

### 平成 28 年度 JKL・JNL 合同行事 (案)



# 近江八幡 夢遊覧 水郷めぐり

申し込み期日  
月 日 まで

#### 近江八幡の旅ご案内 (案)

と き	平成 28 年 11 月 27 日 (日) 10:30~17:00 頃まで
と ころ	近江八幡 水郷めぐりと町並み散策 (又は八幡山紅葉鑑賞)
集合場所	近江八幡駅 10時30分集合予定
会 費	6,000円又は5,000円では難しいかな

#### 行程予定

10:30	JR 近江八幡駅集合
11:15~12:45	近江八幡街散策又は八幡山頂紅葉鑑賞
13:00~14:30	昼食
15:00~16:15	水郷めぐり
17:00	JR 近江八幡駅解散

#### 初めての試み 名古屋・関西ともに集わん近江の地

JKL 発足 15 年、JNL 発足 10 年、お互いの行事に参加し、親睦を深めてきましたが、やっと同じ企画で、同じ場所に集うことになりました。第一回は、名古屋と大阪のほぼ中間にあたる近江八幡を選びました。ここは「近江八幡の水郷」として重要文化的景観の第 1 号に選定されたところです。小舟にゆられ葦に囲まれた水郷を分け入ると、いつしか時も緩やかに流れ、小林綾子の櫓を漕ぐ姿・テレビ「剣客商売」のオープニングシーン。豊臣秀次の居城八幡山は、今紅葉の最盛期、城下町でもあり、商業都市でもある歴史街、風薫るこの地を共に楽しみたいと思います。

JKL・JNL 合同行事実行委員会

#### 申し込み お問い合わせ

(FAX、電話又はメールにて)

JKL、JNL 各幹事及び時習館同窓会各支部役員までの予定

当面の問い合わせ  
関西支部 事務局長 伊藤 忠男  
TEL&FAX 9721-65-0960  
メールアドレス ito@jishuukan.name

#### 集合場所 近江八幡駅北口





# 支部便り

## 活動報告他



支部活動



「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」

報告ならびにお知らせ  
ゴルフ会幹事 山村 信哉 (時習 17)



平成 27 年は 6 月と 11 月に「ゴルフ会」を開催いたしました。

ハンディキャップの上限なしの効果もあり、面白い展開が期待されます。

○ 第 29 回 (平成 27 年 6 月 13 日)

於 愛宕原ゴルフ倶楽部

《参加者》

石川吉之助 (時 12)、伊藤忠男 (時 13)  
柴田太郎 (時 17)、花井俊作 (時 17)  
山村信哉 (時 17)、鈴木 自 (時 20)  
岡田順子 (時 20)、利根川躍 (時 21)  
藤井順子 (時 28)、近田 昇 (時 35)  
ゲスト A・O 氏

	東	中	GROSS	H・D	NET
優勝	46	46	92	22.4	69.6
2 位	45	44	89	17.6	71.4
3 位	47	48	95	22.4	72.6
4 位	52	56	108	32.0	76.0
5 位	54	47	101	24.8	76.2
6 位	58	51	109	32.0	77.0
7 位	53	58	111	32.0	79.0
8 位	66	56	122	42.8	79.2
9 位	66	53	119	38.0	81.0
10 位	69	60	129	47.6	81.4
11 位	62	65	127	44.0	83.0



第 29 回参加者の皆さん

○ 第 30 回 (平成 27 年 11 月 22 日)

於 愛宕原ゴルフ倶楽部

《参加者》

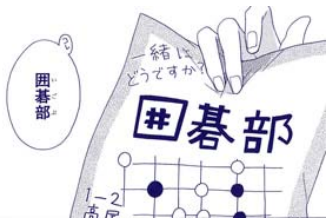
石川吉之助 (時 12)、松尾英城 (時 13)  
伊藤忠男 (時 13)、山村信哉 (時 17)  
鈴木 自 (時 20)、岡田順子 (時 20)  
河合行朗 (時 20)、利根川躍 (時 21)  
藤井順子 (時 28)、近田 昇 (時 35)



第 30 回参加者の皆さん

	中	西	GROSS	H・D	NET
優勝	40	42	82	12.8	69.2
2 位	43	47	90	18.8	71.2
3 位	54	50	104	32.0	72.0
4 位	56	51	107	33.2	73.8
5 位	47	49	96	20.0	76.0
6 位	50	44	94	17.6	76.4
7 位	50	53	103	26.0	77.0
8 位	51	54	105	27.2	77.8
9 位	59	62	121	42.8	78.2
10 位	56	71	127	41.6	85.4

支部活動



第3回囲碁同好会開催!



竹内 隆夫 (時習 21)

昨年度に、時習館同窓会関西支部に囲碁同好会が発足しました。

今年度の活動は、世話役の竹内が骨折するというアクシデントがあったため、平成28年1月30日に、大阪倶楽部（大阪市中央区今橋4-4-11）の囲碁室での第3回同好会開催のみとなりました。

参加者は夏目信（7）嶺田次夫（11）藤田和弘（15）花井俊作（17）熊谷信哉（18）江辺和子（18）竹内隆夫（21）の7名でした。山崎達彦（15）さんは、出席予定だったのですが、風邪のためやむを得ず欠席となりました。

午後1時に会場に集まり、それぞれ、適当に相手を見つけ、対局を始めました。

午後6時ころまで、それぞれ4局ほど熱戦を繰り広げ、日ごろの研鑽の成果を確認しました。

囲碁を楽しんだ後は、倶楽部の食堂で食事をしながら囲碁談義に花を咲かせ、楽しい1日を過ごしました。

囲碁同好会には、入会も退会もありません。興味のある方は、世話役の竹内まで、

同好会期日の連絡を頼むとご連絡ください。そしたら、連絡を差し上げますので、都合のつくときにご参加くだされば結構です。

また、自分の棋力に近い好敵手が見つかるか否か心配の方もいらっしゃると思いますので、竹内が独断と偏見で勝手に参加者の棋力診断をした結果をご報告します。

竹内6段格、藤田5段格、嶺田3段格、夏目初段格、山崎初段格、花井・熊谷・江辺級位者ということになります。幅広い棋力の方が参加していますので、適当な好敵手が見つかると思います。

囲碁界の昨今の話題は、日本にあっては、井山裕太6冠が十段戦に挑戦者となり、7冠達成なるか否かということ、世界では、コンピューターのアルファ碁が世界チャンピオン経験者のイ・セドル（韓国）を4勝1敗で下し、将棋、チェスに続き、囲碁までも、コンピューターが人間を上回るという結果となったということです。

そうした、プロのトップの動きとは別に、アマチュアにあっては、ボケ防止を願って、日々手談に励んでいるといったところです。

囲碁同好会世話人 竹内隆夫 (21)

電話 06-6949-8601

FAX 06-6949-8602

E-mail [take-lo@nifty.com](mailto:take-lo@nifty.com)

支部活動

関西支部行事

世界に羽ばたく姫路城を訪ねて  
平成27年10月11日に行く

姫路城の魅力とは



衣替えした姫路城を訪れた。その美しさは実際この地に立ってみて初めて分かる

(総勢 50 名弱)

この上ない秋晴れ、すがすがしい風が頬をかすめる。姫路駅を降り立ち一直線に伸びた道路の前方に、白く輝く城郭がそびえている。まさに白鷺が羽根を広げた様である。時計は 11 時を指していた。参加者は名古屋から 9 名、東京から 1 名を加え、50 名弱であった。

○ 美しさにこだわった姫路城

迎いのバスに乗り込み、護国神社に向かう。先ず、昼食で腹ごしらえ。その後、隣の姫路城に向かう。年寄りには難しいかと思われた天守閣への階段、誰も弱音を吐かず登り、その美しさに感激した。ただただ見入るのみ。

ところで、姫路城に引き付けられるのは一体何だろうか？そもそも、姫路城にはこだわりがあることだ。どうして白い城壁なんだろうかという疑問が沸く。聞くところによると、池田輝政がこれからは「武による政治」ではなく、「美の威嚇」により、民心を魅了し統治するとして、白さと美しさに固執したと。また、造り上げた天守閣が僅か

に傾いていることに気付き、棟梁は寸法を間違えたと思い込み自ら命を断った。その精度、美しさに対する執念には並々ならぬものがあったのだ。その意味では、池田輝政の狙い通り、訪れる人たちを見てほくそ笑んでいるのではないか。「してやったり」と。

○ 人々の畏敬の念が逸話に残る

さらなる魅力は、多くのミステリアスな逸話が残っていることだ。「一枚、二枚」と皿を数えるお菊の恨めしい声、武蔵の妖怪退治。その他挙げれば切りがない。これらは威風堂々とした美しさに威嚇された民の畏敬の心から産み出されたものだろう。姫路城建造の目的は十二分に達成されたと言ってよい。

まさに狙い通りの魅力に浸り、一日満足の行く日を過ごした。感動のためか、帰りの足取りは軽かった。この余韻はいつまでも続きそうだ。

誠に有意義で楽しい関西支部行事であった。

関西支部 事務局

## 事務局から

# お知らせとお願い

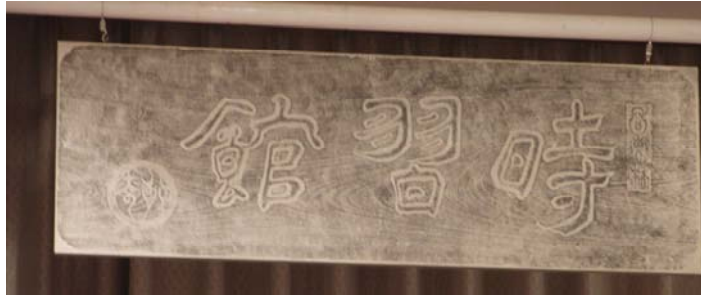


## 時習館同窓会関西支部事務局よりのお知らせ

平成27年度の総会におきまして、神戸支部の運営事情から副支部長の交代（時14 片岡聰子さんから時14 松下和正氏へ）が承認されました。また、本人のたつての要望により大林冷子さん(時6)、居住地区の変更に伴い、井上亮二氏(時18)及び横井愛子さん(時21)、健康上の理由から瀬野敦子さん(時24)の役員勇退が決まりました。この紙面を借りてご報告いたします

## 時習館同窓会関西支部規約

1. (名 称) 本会は時習館同窓会関西支部という。
2. (目 的) 本会は会員相互の親睦を計ることを目的とする。
3. (事 務 局) 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-14-1  
山本通産株式会社内 (代表者 石川 吉之助) に置く。
4. (会 員) 本会の会員は時習館同窓会員で関西地方に在住する者とする。
5. (役 員) 本会に次の役員をおく。  
支 部 長 1 名  
副 支 部 長 若干名  
理 事 若干名 (うち1名を会計とする)  
監 事 若干名
6. (役員任期) 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。
7. (役員選任) 役員は総会において選出する。
8. (役員職務)
  - (1) 支部長は本会を代表し、会務を報告する。
  - (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長事故あるときは、その職務を代行する。
  - (3) 理事は支部長・副支部長とともに本会業務の運営にあたる。
  - (4) 監事は本会の会計監査にあたる。
9. (総 会) 総会は毎年1回開催する。但し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。  
総会は支部長が招集する。  
総会に提出し、その承認を受けなければならない事項は次のとおりとする。
  - (1) 前年度の会務及び収支決算報告
  - (2) 新年度の収支予算
  - (3) 役員選任
  - (4) 規約の改廃
  - (5) その他の重要な事項
10. (理 事 会) 理事会は、支部長の招集により開催し、本会の運営および企画の審議にあたる。  
理事会は総会にかかわって必要事項を議決することができる。但し、その内容を総会に報告しなければならない。
11. (議 決) 会議の議決は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。
12. (経 費) 本会の経費は、会費、賛助金、寄付金およびその他の収入金をもってこれにあてる。
13. (会 計 年 度) 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
14. (規約の変更) この規約は総会の議決によって変更することができる。



## 会員の動静

《お亡くなりになられた方》ご冥福をお祈りいたします

☆豊43 兼松 弘

☆時3 外山 良三

☆時4 四方 猛

☆時9 鈴木 正弘

2013年度発行の時習館同窓会会員名簿に記載されている関西在住者の内、転居されたと思われる、その後の住所が不明な方のリストを記載いたします。

### 住所不明者リスト

時3～時20	時21～時30	時31～時40	時41～時50	時51～
中島 山奇 (時3)	水野 時男 (時23)	川村 達朗 (時31)	今泉 博文 (時41)	阿部 太一 (時52)
前田 康宏 (時7)	竹内 光一 (時24)	小早川泰之 (時31)	大隅 正彦 (時42)	太田 直道 (時52)
小森 久枝 (時11)	若原 俊子 (時24)	小西 宏昌 (時33)	太田 陽子 (時43)	黒田 愛 (時55)
武田 久子 (時11)	久野 良孝 (時25)	河村 敬夫 (時35)	大林 靖明 (時43)	梅田 浩明 (時56)
金沢 範子 (時12)	鈴木 克実 (時25)	木下 専 (時35)	清位 靖子 (時43)	野澤よぶき (時56)
大竹 宏明 (時15)	佐久間貴彦 (時26)	米虫 清子 (時35)	斎藤 聖己 (時43)	中田 晃愛 (時56)
馬場 一代 (時15)	松井 茂記 (時26)	國松 真樹 (時36)	田中 真人 (時43)	宮森 善隆 (時57)
厚地 正伸 (時17)	井上 尚 (時27)	助野 純久 (時36)	伊藤 資泰 (時44)	横田 幸介 (時58)
中本加代子 (時19)	松本 富夫 (時27)	宮沢 健士 (時37)	鈴木 博成 (時44)	村松 亜紀 (時59)
澤田 眞理 (時20)	尾崎 雅則 (時30)	弓地 和豊 (時38)	寺澤 裕司 (時44)	
三輪 邦興 (時20)	宮野 一成 (時30)	大沢 立弥 (時39)	矢野 裕司 (時44)	
		竹中 規代 (時40)	石部 秀樹 (時46)	
			松葉千登勢 (時46)	
			山原 友恵 (時46)	
			伊藤 靖幸 (時47)	
			太田有希子 (時48)	
			成岡 浩子 (時48)	
			早戸 容子 (時49)	
			廣田 起子 (時49)	
			松村 憲 (時50)	

上記会員の方々の動静をご存じの方がおられましたら、事務局までご連絡下さい。

注： 従来、住所変更された方の新しい住所を記載していましたが、プライバシー保護のこともあり、ここでの記載を差し控えます。

皆様ご存じのように関西支部設立50周年の記念事業の一環として『時習館かんさい』17号から19号にかけて豊中、時習館の卒業生名簿を順次掲載しました。会員同士の親睦・交流をより一層深めていただくのが目的で、個人情報保護という点にも配慮しながら、分かる範囲で掲載するよう心がけました。

一連の名簿や変更情報などをご覧になって、あなた自身はもちろん、お知り合いの方に関し、記載事項に間違いを発見されたら、ご面倒でも事務局（山本通産株式会社内 石川支部長）または山村編集委員長まで郵便、FAXまたはEメール（宛て先は『時習館かんさい』表紙右上参照）でご報告願います。

今回の名簿に限りませんが、あなた自身がいずれかへ入学、就職、転任、転居の際、または改姓・改名の時もお知らせくださるようご協力をお願いいたします。

その時は次の6点を明記してご通知ください。

①卒業年次 ②氏名（旧姓も） ③郵便番号 ④現住所 ⑤職業または勤務先（所在地・屋号・職務など）あるいは卒業または在学学校名（詳しく科別も記入） ⑥（公開してもよい）電話番号か携帯電話番号

この名簿は会員相互の親睦と理解を図る目的で編集しています。個人のプライバシー保護には支部としても充分注意しておりますが、会員の皆様も取り扱いにはくれぐれもご注意ください。同窓会関係以外の第三者に閲覧させたり、交付することは絶対にしないでください。

## 今年も先輩から温かい援

（2016年4月1日現在）

### 賛助金 177,000円

今年度も卒業50年を経た先輩方から温かい援助の手が差しのべられています。現時点で、賛助金が72人の先輩から寄せられました。本当にありがとうございました。（賛助金の総額は4月1日現在で、監査後寄せられた分は加えられていません）

「後輩たちを元気づけてやろう」というお気持ちで充分です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 『時習館かんさい』へ投稿してみませんか

自分の書いた文章や写真が冊子になって同窓生の手許に届くと考えるとワクワクしてきませんか？最近感動したこと、学生時代を振り返ってみて思うこと、こんな活動をしています、こんなイベントに参加しました、最近こんなことを考えています、など、気楽に書いて『時習館かんさい』へ是非ご投稿下さい。

✉原稿：1頁1600字程度が目安です。

「手書き」「ワードかテキストで入力したもの」いずれもOKです。

✉写真：「顔写真」と「文章と共に掲載する写真」を、原稿と共にお送り下さい。

簡単な写真の説明もぜひ添えて下さい。

📄1頁も書くのはなあ...短い文章なら書けるよという場合は、「私の1枚!」のようにお気に入りの写真を紹介していただくような形式もOKです。

原稿、写真は1月末ごろまでに、「Eメール添付」「郵送」「FAX（写真は郵送かEメール添付で）」で、編集委員長までお送り下さい。

〒665-0042 宝塚市逆瀬台1-11-4-1312

編集委員長 山村 信哉

TEL & FAX: 0797-74-4858

E-mail: nobuSyama@rose.sannet.ne.jp

（時習館同窓会関西支部役員一同）

編集余話



コンピューターの能力 “拝借”  
真の進化を



スーパーコンピューター「京」



人の叡智は限りなく！  
牧野圭一 作

編集委員会を終え、ほっと一息くつろぎながら談笑した。最近の新聞ニュースに話が及んだ。

囲碁の世界でコンピューターが韓国のプロ棋士を4勝1敗で下したという話題には委員皆、大いに関心があった。「いずれ考えるコンピューターが出現して、もう人間の出る幕はなくなるのでは？」という悲観的な考えもあるほどだ。果たしてそうだろうか。

○ 進化する人の思考能力

人の思考能力は進化することに最大の特徴がある。環境や経験、さらには直観も大きな変化、飛躍につながり、論理回路・思考回路を超越することで、さらなる進化を続けることが出来る。

でも、コンピューターには、その時代における進化の過程で最高の論理的思考回路を付与したに過ぎない。そう、いくらコンピューターの能力が、ここまで飛躍的に高まった、と言っても、すべて人が描ける回路の中で“動作”しているだけだ。ただ、人と違うのは、膨大な量の記憶や経験値、思考から得た結果を蓄積し、適用する能力があること、時として人はその量に負けることがある。人は忘れるという特技があるが、コンピューターはその容量を大きくすれば、忘れる量を極端に少なくすることができ、蓄積量が増える。そのみコンピューターが優位で、この量からくる優位性は人が利用する対象である。

関西棋院所属のあるプロ棋士（九段）も「人間にとってはむしろチャンス。ああ、こんな手もあ

るのか、という発見も多いのではないか。コンピューターが紡ぎ出す未知の打ち筋を研究すれば棋界の実力底上げにも直結する」と新しい時代の到来を歓迎している。

○ 所詮、人が教えた思考回路

コンピューターの能力は所詮、人が教え込んだ思考回路なので、量からくる思考結果は、どれをとっても人が描けないものではないと思う。

むしろ人が描けない想像だにできない飛躍は根本的な質の変化（ひょっとしたら細胞構成の変化、記憶装置の変化すらあるかも知れない）にあると言える。それこそが真の進化であり、世の中を、地球を、あるいは宇宙を導くもの、これが人に与えられた使命である気がする（愚かな戦争や人間みみのエゴイズムに取りつかれ馬鹿げた自然破壊などにより、すべてを滅ぼさない限りだが…）。

ちょっと抽象的過ぎてしまったが、具体性を考えながら、整理すると、新しい哲学の領域に入れるかも知れない。例えばコンピューターで出来て、人間では不可能なもの、逆に人間で可能だけどコンピューターには出来ないものは何があるのか、こんな問いかけも、その答えを導きそうな気もする。

締め切りに追われながらの慌ただしい編集委員会。束の間の休憩時間、こんな談笑の時間、編集委員にとって、実に楽しいひとときでもある。

編集委員会

